

(社)鹿児島県放射線技師会

会報

平成19年9月

第106号



社団法人 **鹿児島県放射線技師会**

鹿児島市東坂元四丁目28-11

TEL099-248-0028

FAX099-248-0028

目 次

巻 頭 言	定款改正に向けて……………(社)鹿児島県放射線技師会会長	西 本 孝 市 ……………	1
退 任 の 挨 拶	会長退任にあたって……………前会長	鮫 嶋 宗 俊 ……………	2
	理事退任にあたって……………(社)鹿児島共済会 南風病院	有 蘭 良 一 ……………	5
		内 田 一 正 ……………	6
		総務 宮 島 隆 一 ……………	7
就 任 の 挨 拶	会長就任のご挨拶……………会 長	西 本 孝 市 ……………	8
	副会長就任のご挨拶……………鹿児島大学病院臨床技術部放射線部門	池 田 睦 ……………	9
	理事就任のご挨拶……………総務担当	永 田 隆 二 ……………	10
		財務担当 西 元 辰 也 ……………	10
		学術担当 小 林 保 浩 ……………	11
		学術担当 新 村 栄 次 ……………	11
		学術担当 石 本 裕 二 ……………	11
		広報・編集担当 富 松 正 明 ……………	12
	福利厚生・組織表彰 大久保 光 男 ……………	12	
	総務・HP作成委員 原 口 誠 ……………	13	
お 知 ら せ	イベントのご案内 ……………		14
	後期ADセミナー ……………		15
	第14回九州支部主任者研修会 ……………		16
	放射線管理士および、放射線機器管理士の認定資格取得に関して ……………		17
報 告	(社)日本放射線技師会創立60周年記念式典報告 ……………		18
	第64回日本放射線技師会定期総会報告 ……………		19
総 会 資 料	第81回社団法人鹿児島県放射線技師会通常総会議事録 ……………		20
	平成18年度事業報告 ……………		25
	平成18年度活動報告 ……………		27
	平成18年度収支計算総括表 ……………		30
	平成18年度監査報告 ……………		42
	平成19年度事業計画 ……………		43
	平成19年度予算書 ……………		47
	理事会議事録	平成19年度第1回理事会議事録 ……………	
平成19年度第2回理事会議事録 ……………			53
平成19年度第3回理事会議事録 ……………			55
平成19年度第4回理事会議事録 ……………			59
市民公開講座 ……………			62
厚生労働大臣賞表彰記念祝賀会開催される ……………			64
健康ハート展に参加して ……………			65
鹿児島市医師会夜間急病センターを勤務して…(社)鹿児島共済会 南風病院放射線部	淵 脇 崇 史 ……………		66

学	術	春季学術大会	67
		Radiology Information System (RIS) の使用経験について	68
		超音波検査時 寝台の一工夫	69
		線量低減によるFNC処理の有用性	70
		マンモグラフィ施設認定取得への取り組み	71
		当施設における乳癌検診の現状 ～アンケート調査をもとに～	72
		64列MDCTにおける側頭骨撮影の評価	73
		腹部Dynamic Study における造影剤投与量の検討	74
		最新医療機器について ～64列MDCT～	76
		「拡散強調画像について」	80
		鹿兒島の最新医療 PET-CTについて	82
		I-125 シード線源永久挿入による前立腺癌密封小線源療法	83
		春季学術大会 会員発表……座長集約 今給黎総合病院 馬場 なつき	84
会計	だより		88
理事	・監事名簿		89
(社)鹿兒島県放射線技師会	準会員名簿		90
編集	後記		91



定款改正に向けて

会長 西本 孝市

9月も末となり、朝夕は秋の気配を感じる季節になりましたが、今年は残暑が厳しく連日暑い日々が続いておりますが、会員の皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、新執行部としてスタートしてから半年になろうとしていますが、諸先輩方の指導を仰ぎながら、役員一同一丸となって会務の遂行にあたっているところであります。ようやく軌道に乗りつつありますが、会務が滞る点がありますことは、ご了承願いたいと思います。

県技師会の当面の課題としまして新公益法人への移行の問題がはだかっています。平成18年6月に公益法人制度改革関連3法が公布され、平成20年12年1日に施行される見込みです。施行日から5年間の移行期間がありますが、県技師会としまして、新たな法人制度への移行手続きをしなければなりません。

本会の選択肢としては、公益社団法人または一般社団法人への移行、その他の法人（例：株式会社）への移行あるいは解散する道しかありません。つまり、現在の「社団法人」という団体そのものが消滅することになります。諸先輩方の英知と血の滲むような努力により築かれてきた本会の隆盛と伝統の灯を消さないためには、どうしても公益社団法人または一般社団法人に移行しなければなりません。

ここで定款変更の問題が浮かび上がってきます。「新社団法人」に移行するためには、新公益法人制度に準じた定款に変更しなければなりません。変更が求められる条文としては、会員、事業内容及び役員規定に関する事項等があります。本会の定款を変更するためには、第33条の規定により総会において総正会員の4分の3以上の同意を得なければなりません。くわえて、第25条第2項の規定により書面表決は認められないと定められています。すなわち、総正会員の4分の3以上が一同に会しなければならないという解釈になり、非常に厳しい条件を克服しなければなりません。物理的には不可能であるような条件であり、これに代わる方策はないか模索している状況にあります。会員の皆様からの提案をお待ちしていますとともに、今後ともご支援のほど宜しくお願い申し上げます。



会長退任にあたって

前会長 鮫 嶋 宗 俊

平成15年4月1日から平成19年3月31日までの4年間を振り返ってみました。

会長就任にあたっては、今までの流れをしっかりと引き継ぎ県技師会のさらなる発展のため3つの目標、①本会主催の研修会や研究会などへの参加に、非会員や他の専門職の方々を受け入れられないか。②地方会員との一体感が持てるよう秋季学術大会を地方で開催できないか。③原子力防災支援や大災害医療支援など地域社会に頼られる技師会になれないか。を掲げました。この3点については委員会、理事会において審議を重ね実現に漕ぎ着けることができました。第1点については、非会員及び学生の取り扱いについて明文化し県技師会運営の透明化、オープン化を図りました。第2点については、秋季学術大会を各支部右回りで南薩支部、川薩支部、霧島始良支部と順次開催して来ており、会員の求心力を高め組織の充実・強化に大きな役割を果たしております。第3点については、マニュアルが完成し鹿児島県から原子力防災訓練への要請が来るようになりました。

新体制スタートまもなく、日本放射線技師会の新生涯学習システムが大きく稼動を始め、県技師会としても全国各県と足並みを揃えるため早急に講習会を開催しなければならない状況となりました。アドバンスド放射線技師格取得のための医療安全学、救急医療学、看護学、医療学や認定資格取得のための放射線管理士、放射線機器管理士講習会の講義内容、講義レベルの設定、講師選任等、理事にとってその忙しさは尋常なものではありませんでした。今までにない鹿児島での大きな講習会でありました。

公益事業においては、県民のための技師会となるべく市民公開講座、健康ハート、市民健康祭り、原子力防災訓練参加、鹿児島市夜間急病センター放射線業務受託、作業環境測定、レントゲン週間イベントによる最新画像パネル展示・画像放映、骨密度測定・マンモグラフィ無料検診などを実施しました。地域の放射線専門家として地域社会にその姿を示すことができ社会の構成員として本来の使命を果たすことができたと思っております。

組織の充実・強化として、県下6支部が統一された支部運営規定、支部会則に沿って運営されるよう支部運営規定の改定、支部会則の設置を行い支部の組織化を図りました。今では各支部が組織としてしっかりとまとまり活性化し、県技師会事業推進に大きな力となっております。

以上、特筆すべきことを記しましたが、今もって思えば猪突猛進の4年間でありました。数多くの大きな事業が遂行できたのは、優秀な素晴らしい理事の働きによるものであります。ご支援ご協力ご指導いただきました会員の皆様、各委員会委員、各支部長、各支部役員、理事、監事様に心からのお礼と感謝を申し上げ、社団法人鹿児島県放射線技師会の益々の発展を祈念し退任の挨拶とさせていただきます。誠に有り難うございました。

4 年間の足跡

1. 新規事業

1. 生涯学習システム開催

- ① アドバンスド技師各取得講習会（救急医療学、医療安全学、看護学、医療学）
- ② 認定資格取得講習会（放射線機器管理士、放射線管理士）
- ③ 全国統一認定試験（救急医療学、医療安全学、看護学、医療学、放射線機器管理士、放射線管理士、医療情報管理士、臨床実習指導者教員）

2. レントゲン週間イベント開催

3. 県秋季学術大会開催（各支部右回り順次開催）

4. フレッシュアップセミナー開催（平成15年度～平成18年度）

5. 法人化設立15周年及び会報発行100号記念誌発行

6. 鹿兒島市夜間急病センター放射線業務受諾

7. 原子力防災及び大災害医療支援体制マニュアル作成

8. 原子力防災訓練参加（平成17年度～平成18年度）

9. 鹿兒島支部を分離独立

10. 支部運営会則設置

11. 会費納入規程に関する細則の制定

12. 研修会、研究会、学術大会への非会員、学生の参加条件の明文化

13. 市民健康祭り主催団体加入

14. 技師会関係講演

- ① 社団法人日本放射線技師会熊谷和正会長講演
- ② 社団法人日本放射線技師会佐久川哲副会長講演
- ③ 九州地域放射線技師会阿部一之会長講演

15. 放射線機器管理士・放射線管理士・医療情報管理士各部会設置

16. 鹿兒島マンモグラフィー研修会開催

2. 継続事業

1. 支部運営規程、役員選挙規程、会費納入規程、会費免除に関する規程、表彰規程・表彰規程細則、叙勲申請に関する規程の改定

2. 放射線学術講演会・鹿兒島県放射線技師会生涯教育講座（第10回～第13回）

3. ホームページ開設

4. 会報発行（第98号～第105号）

5. ニュース発行（第49号～第52号）

6. リーダー育成研修会（第7回～第10回）

7. 支部長会議開催（平成15年度～平成18年度）

8. 各支部研修会開催（平成15年度～平成18年度）

- 9. 春季学術大会（平成15年度～平成18年度）
- 10. 市民健康祭り参加（平成17年度～平成18年度）
- 11. 健康ハート参加（平成15年度～平成18年度）
- 12. チャリティーグリーンウォーク参加
- 13. 作業環境測定（平成15年度～平成18年度）
- 14. ボーリング大会開催（平成15年度～平成18年度）

3. 表彰

1) 公的表彰

- ①叙勲受章祝賀会開催 湯ノ口武司、黒岩保雄
- ②叙勲申請及び受章祝賀会開催 中村純雄、小川臣人、谷 俊雄
- ③厚生労働大臣表彰申請及び受賞祝賀会開催 河野正人

2) 鹿児島県放射線技師会関係

- ①特別功労賞（役員功績：会長） 村山光生、岡田淳徳
- ②功労賞（役員功績：副会長） 福島 昇、橋口善治

理事退任にあたって

(社)鹿児島共済会 南風病院 有 菌 良 一

今回、3期6年間つとめた(社)鹿児島県放射線技師会の理事を退任することになりました。

まず思い出されるのが、小冊子の改定です。二年間ほどかけて委員の方と一緒に作っていました。技師会の事務所に詰めて遅くまで編集作業したこともありました。大変でしたが今となってはいい思い出です。オーソドックスな形にはなりましたが、いい冊子が出来たのではないかと思います。

最近では、ホームページの立ち上げを担当させて頂きました。なんとか立ち上げて、会員のみなさんへ情報発信はできるようになりました。ホームページはメーリングリストの活用などもっと便利な利用法があります。これからもっと充実させていかなければいけないと思います。

大したことは出来なかったですが、少しでもこの会に軌跡を残せ、多くの方と知り合え、多くの勉強をさせて頂きました。ありがとうございました。

最後に、この会に入って思ったことですが、学会活動・技師会活動など一生懸命やっている人とやっていない人の差が大きすぎるような気がします。今後の技師会の活動として、ボトムアップが必要ではないかと思います。日放技も生涯学習システムで技師のレベルアップをはかろうとしています。ADセミナーも会員の半数ほどしか受講していないと思います。今後の課題ではないでしょうか。私も理事は退きますが、微力ながら今後も協力していきたいと思っています。

岡田前々会長・鮫嶋前会長はじめ理事・監事の方々、本当にお世話になりました。また、現執行部の方々、大きなイベントも控えています。大変でしょうが、がんばってください。みなさん、ありがとうございました。

理事退任にあたって

内 田 一 正

鹿児島県放射線技師会理事（広報担当）として、4年間技師会の仕事に携わってきました。

ADセミナーの研修会、放射線機器管理士、放射線管理士の研修会、と最初の1-2年は、半分くらいの休みは技師会活動だったような気がします。思い返すと本当に行事の多かったこの4年間。もちろん会員の参加のみなさまも大変だったことと思います。

広報の仕事は、行事の写真撮影が大変で、一眼レフのデジカメでなかったのも、どうしてもフラッシュの光源が届かないため前に向かないといかず、ちょっと恥ずかしい面がありました。また、技師会、研修会、記念式典での撮影をするのはいいのですが、どうしても会報に掲載するため撮影枚数が多くなり、その後の編集にかなり時間がかかっていました。特に写真と発表者の確認はほんとに大変でした。でも、一番大変だったのは、2004年に作成した記念誌と毎回のニュースと会報の原稿集めでした。どうしても、会員のみなさま、理事のみなさん忙しく、期日厳守がなされず、最初の1-2年は、ピリピリしてたかもしれません。後半は『まあ、いいかあ・・・』って感じで結構のんびり会報作りに励んでいました。2期4年と少し短かったかもしれませんが、鹿児島県放射線技師会のことを自分なりに理解でき、また、少しは貢献できたと感じています。

この4年間、会員のみなさま、役員のみなさま、本当にありがとうございました。

理事退任にあたって

総務 宮 島 隆 一

2年前の4月の異動で久しぶりに鹿児島に戻って来ると、『県理事の欠員が有るので手伝って欲しいと』声を掛けて頂きました。以前よりお世話になり、育てて頂いた鹿児島県放射線技師会の方々に、微力ながら恩返しができたらと思い引き受けることにしました。

いざ理事に就いてみると、県技師会は支部活動も組織され、教育や研修活動も充実しており、県の事業を理解するのが精一杯で会務への対応が遅くなったり、不備が多々有りました。また、本部が推し進める生涯学習システムについても十分理解しておらず、会員や理事の皆様にはお迷惑をお掛けしたことと思います。この場を借りて陳謝したいと思います。

理事の活動での一番思い出は、本会の活動を通して市民の方々と触れ合う機会が持てて、いろいろな意見が聞けたことや、我々の仕事についての啓蒙が出来たことでした。また、職場以外の技師の友人が得られたことも大きな財産となりました。

最後に、新任して職場の仕事を覚えなれない時期に理事を引き受けた小生の技師会活動に理解を示し、イベント等に参加協力して頂いた鹿児島医療センター放射線室の諸兄に感謝いたします。

会長就任のご挨拶

会長 西本 孝市



新緑の鮮やかな季節になりましたが、会員の皆様方におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。あわせて、県民医療の向上にご尽力されていますことに敬意を表します。

私こと、平成19年3月11日の第80回通常総会に於きまして、理事にご承認いただきましたのを受け、4月2日の第1回理事会で推挙され、会長に就任致しました鹿兒島市立病院の西本 孝市でございます。役員としての経験が浅く、資質にも恵まれない私に任務が全うできるか不安を抱いておりますが、幸いなことに、前理事の6名の方々が理事及び監事として留任していただいたことは、心強い限りであります。

折しも、今年は県技師会創立60周年の節目の年を迎えることになりました。歴代会長さんをはじめとする諸先輩方が、営々として築いてこられた歴史と伝統を踏襲しつつ、更なる繁栄の一步を踏み出していかなければなりません。なお、11月には関係団体の方の御臨席を賜り、記念式典及び祝賀会の開催を予定しております。多くの会員の方々が御出席されますようお願い致します。

7月には参議院議員選挙を控えています。日本放射線技師会、日本作業療法士協会、日本臨床工学技士会、日本歯科技工士会が母体となって設立された「21世紀の医療と福祉を支える会」の代表として、日本歯科技工士会の中西 茂昭氏が自由民主党公認の比例代表として出馬されます。3年後には、日本放射線技師会から出馬することが決定しています。よりよい医療を行っていく上で必要な我々の声を国政の場に届けることができるようになる良い機会であります。同氏を当選させるべく会員の皆様方のご支援をお願い致します。

県技師会は社団法人として、会員の資質の向上及び公益事業を2本の柱として事業を展開してきましたが、今回の公益法人制度改革により、現在の活動や事業を展開していくためには、新たに公益社団法人としての認定を受けることが必要になります。この制度は平成20年4月に施行され、猶予期間は5年間です。新たに公益社団法人としての認定を受けるには、定款の改正が必須であります。定款を改正するには、全会員の2/3以上の出席による採決（書面表決は不可）が必要であり、約300名以上の会員が一堂に会しなければならないと言う高いハードルがあります。実現不可能に近い様な条件ではありますが、解決に向けての方策を見出していかなければなりません。

平成21年度には、全国放射線技師総合学術大会が鹿兒島で開催されることが決定されております。県技師会の威信にかけて成功させなければならない大事業であり、今年度から準備を進めてまいります。全会員が総力を上げて取組んでいかなければ成し遂げることはできません。会員の皆様や施設にご協力をお願いすることが多くなりますが、ご配慮のほど宜しくお願い致します。

平成19年度は、解決しなければならない大きい問題や事業を抱えてのスタートとなりましたが、これらの他にも多くの事業があり、会員の皆様のご支援なしでは何一つ達成することはできません。会員の皆様方のご意見とご指導を賜りながら円滑な会の運営を図りたいと考えておりますので、ご協力のほどを宜しくお願い申し上げます。就任のご挨拶と致します。



副会長就任のご挨拶

鹿児島大学病院臨床技術部放射線部門 池田 睦

平成19年 鹿児島県放射線技師会副会長として選出されました池田です。
過去には技師会の学術で4期、平成元年から平成8年までだったでしょうか、
湯ノ口会長、村山会長と一緒に技師会活動をさせてもらった経緯があります。

私が理事になる前の放射線技師会は運営上の関係からか、1施設もしくは2施設の大規模病院の放射線技師がほとんどの理事を構成する技師会でした。したがって横の連絡等はスムーズに行なえ、技師会運営上は非常に便利でした。しかしながら、鹿児島県放射線技師会として考えた場合、1施設や2施設の放射線技師だけで構成される理事会が本来の鹿児島県の放射線技師会活動を満足に実施できていたかどうかは分かりませんでした。

湯ノ口会長になりまして、今までの大規模施設のみの理事だけでなく、鹿児島市内のあらゆる施設より理事を募り、色々な意見の集団として鹿児島県放射線技師会を構成するという方法がとられたと記憶しています。鹿児島市内だけではなく、各支部の発足や充実、一般市民を対象とした公開講座等もこの湯ノ口、村山両会長の時代に定着したと思っております。

この度、再度の放射線技師会の理事となりまして、前鮫島会長の推進してこられたこの鹿児島県放射線技師会活動を新会長の西本会長と共に頑張っていくつもりでおります。これからもよろしく願いいたします。

理事就任のご挨拶

総務担当 永田隆二

この4月より、理事に就任いたしました、鹿児島市立病院の永田隆二です。総務担当という重責に大きな不安を抱きながら就任して5ヶ月経ちますが、会務の多さに驚き、正直戸惑っております。社団法人として法務局へ登記等の手続き、県への現況報告、通常総会の運営、新入会や移動等の会員管理など、事務的仕事の多さは、私が想像していた量を遥かに上回るものであり、目が回るような毎日です。ただただ自分の非力さを痛感しておりますが、幸い同じ職場に西本会長、西元財務理事、そして前総務理事の隈氏がおり、大きな力を貸していただけますので、心強く思っています。とりあえず、目の前の仕事をひとつずつ確実にこなしていくことが当面の目標です。

微力ではありますが、皆様のお役に立てるよう全力を尽くしたいと思います。ご協力のほどよろしくお願いいたします。

財務担当 西元辰也

財務理事に就任して今年で4期目（7年目）に入りました。現理事の中では一番の古株の鹿児島市立病院に勤務しております西元辰也と申します。今年一杯、今年こそは、と思っただけでしたが、公益法人の会計処理の件や、全国大会の会計処理等乗りかかった問題があり、そのまま投げ出すわけには行かず、もうしばらく続けることになりました。どうぞよろしくお願いいたします。7年目となりますと、岡田会長（2年間）、鮫嶋会長（4年間）、に続き西本会長（1年目）と3人の会長の下、会務を行っています。鮫嶋会長の時期に、放射線技師会の進行速度がかなり速くなり生涯学習システムなど確立されてまいりました。現在も多少の問題を抱えておりますが現在進行中であります。また会計の問題としては、前年度より公益法人の会計基準が変わり、全面的に適用されるようになりました。このため、今までは諸先輩方からの引継ぎの会計方針で行ってまいりました会計を、会計システムの導入により、基準に従った会計処理という業務を一から再度理解し、処理しなければならない状況となり、自力学習しました。また理解不足な点は会計事務所に2回ほど（合計13時間ほど）詰めて会計科目等の説明、設定の仕方、会計処理指導から決算資料作成までのレクチャーを受けたりしました。何とか形になりホッとしています。今後は予算作成の面で検討し研修してまいりたいと思います。また、今年度は技師会設立60周年記念式典があり、来年度は第25回放射線技師総合学術大会・日韓台学術交流大会が鹿児島で開催されます。また5年以内に公益法人の認定基準が変わります。それによって鹿児島県放射線技師会の定款を改正しなければなりません。定款改正には会員の3分の2の出席が必要であり、書面表決は認められないため、どのように行っていくか思案中です。会員皆様の大切な会費を使わせていただき、是非とも全てを成功させていきたいと思っております。

学術担当 小林 保 浩

今回の理事の改選により、引き続き学術担当理事を担当する鹿児島大学病院の小林です。4年間は、ADセミナーをはじめ放射線管理士等の認定試験など、会員の皆様方も大変なことだったと思います。学術担当としていろいろな不備な点があり、ご迷惑をおかけしたと反省しています。日本放射線技師会は免許更新を見据えた生涯学習システムの完成を平成20年度にしています。もう少し、大変な時期が続きますが、微力なりに頑張りたいと思いますので、皆様のご協力よろしくお願ひします。

学術担当 新 村 栄 次

この度、鹿児島県放射線技師会の理事三期目に選出されました。その中でも学術を担当することになりました。すでに、「新生涯学習システム」がスタートしています。これは診療放射線技師が唯一の評価基準であった時代は過去であり、資格取得後地道に努力し診療放射線技師資格の上に付加価値を積み上げている物を正当に評価するシステムであり、職能団体としての知識の向上を目的としています。会員の皆様が全セミナーを地元で受講できるようにしたいと思います。支部研修会では、各支部長のお力をかりながら会員の皆様のご意見が反映さえるような研修会にしたいと思います。また、県技師会で開催されます学術大会におきましては、若い会員の皆様にも気楽に演題をだして頂けるような魅力的な学会になるようにしたいと思います。会員の皆様にとって有意義な会になれる様、西本会長を中心に学術の小林理事、石本理事、また、各理事と力を合わせて微力ではありますが頑張っていく所存です。

学術担当 石 本 裕 二

この度、理事改選に伴い平成19年4月より鹿児島県放射線技師会の理事を務めさせていただきます鹿児島共済会南風病院の石本です。担当させて頂くのは前有菌理事に引き継ぎ学術を担当することになりました。私の任期中には平成21年になりますが全国放射線技師総合学術大会が開催されます。全国大会ということもあり多数の技師の方々が全国から来鹿されるような学術大会が開催できればと思っています。西本会長、池田副会長をはじめ学術担当である小林理事、新村理事ともども知恵をしまり盛大な学術大会が成功・運営できるように努力していきたいと思っています。それには県技師会会員の皆様のご協力、お力添えが必要となりますのでどうぞよろしくお願ひ致します。

また、学術関連では、技師会をはじめ研究会、あるいは学会における発表など、鹿児島県からは多数施設より発表や論文がでており活躍されています。技師のスキルを向上させるた

めにも県内ならびに県外へ多く発信できる力添えができれば幸いかと思っています。そういう中で日本放射線技師会の技師格も年々緩和され自宅講習ができるシステムになっております。機器管理士・放射線管理士についても DVD 講習が下半期よりできると聞いていますのでご活用されてみてはと思います。

最後になりますが鹿児島県放射線技師会のさらなる充実化と会員の皆様に貢献できる道を模索しながら会運営に取り組んで行きたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い致します。

広報・編集担当 冨松 正 明

平成19年4月から広報・編集担当になりました鹿児島市医師会病院の冨松です。私がこのような責務を果たせていけるのか、大変責任を感じております。仕事の内容も想像以上に大変であり、まだまだ不慣れな点も多く、前担当の内田理事にも協力を頂きながら頑張っております。

これからも、西本会長を始め諸先輩方の知恵や力をお借りしながら、技師会の発展・向上に努めていきたいと思っております。皆様のご協力のほどよろしくお願い致します。

福利厚生・組織表彰 大久保 光 男

例年になく暑さの厳しい夏でしたが、会員の皆様方には益々ご健勝でご活躍のことと存じます。

さて、鮫島会長のもとで4年間理事を務めてきましたが、今回は西本会長のもとで再び理事を務めることになりました。微力ではございますが技師会の発展に精一杯頑張っていく所存です。

今年度は、記念すべく社団法人鹿児島県放射線技師会創立60周年の年にあたり記念式典及び記念祝賀会が行われます。

これまで諸先輩方が苦難と苦労をされながら、地域医療を支えてこられた60年という長い歴史の重みを感じ、これから更に発展させていくことの責任の重さを感じているところです。

また、平成21年度は第25回放射線放射線技師総合学術大会及び日韓台合同学術大会が行われます。

これらの、大きいな事業を成功させるようまた、社団法人鹿児島県放射線技師会の2本の柱である「会員の資質の向上及び公益事業の推進」をおし進めて行けるよう西本会長を中心に理事一丸となって努力していく所存ですので、会員皆様方のご協力とご指導をお願いいたします。

総務・HP作成委員 原 口 誠

県放射線技師会の理事になって3期目となりました。組織・表彰を担当しておりましたが、皆様のおかげで何とかこなしたというのが事実です。

そして新体制となって、総務とホームページの運営を担当することとなりました。こちらも早速皆様にご迷惑をかけながらのスタートとなりました。ホームページにつきましては、構造がかなり複雑になってきており、更新にもやや苦勞しております。つきましては、会員間のコミュニケーションが図りやすいサイトへ進化すべく検討を始めようとしております。会員の皆様からのご意見をいただきたいと思ひます。

さて、今年には県放射線技師会創立60周年記念の年であります。先輩方のご苦勞、ご功績に感謝するとともに、本県技師会の発展にみなで力を合わせてゆきましよう。

イベントのご案内

☆ピンクリボン月間応援について

日時：平成19年10月21日（日） 9時～15時30分

場所：鹿児島市中央公園（テンパーク）

内容：ピンクリボン・ウォーク2007（コースお散歩・2キロ・5キロ）
ピンクリボン・フェスタ（無料乳がん検診100名、クイズラリー等）
アートフリーマーケットほか

多数の会員の皆様にウォーク参加をお願いします。

お問い合わせ：NPO 法人ピンクリボンかごしま 電話099-222-8787

<http://www.pinkribbon-k.jp>

☆市民健康まつりについて

日時：平成19年11月4日（日）10時～15時30分

場所：鹿児島アリーナ

ワークステーション（3D画像提供）、最新画像のプロジェクター映写、放射線に関する検査や被ばく相談コーナーの設置

☆レントゲン週間イベント（市民公開講座と無料検診）

日時：平成19年11月10日（土）13時～

場所：ドルフィンポート内 ドルフィンホール

鹿児島市本港新町5番4号 TEL (099)221-5810

市民公開講座

開会の挨拶（13：00） 社団法人鹿児島県放射線技師会 会長 西本 孝市

特別講演（13：05～14：05）

座長 社団法人鹿児島県放射線技師会 会長 西本 孝市

「家庭における救命処置について」

鹿児島市立病院救命救急センター 吉原 秀明 先生

講演1（14：15～15：00）

「乳房の自己検診法について」

鹿児島市立病院 放射線技術科 隈 浩司 さん

イ ベ ン ト

無料マンモグラフィー検診（50名）・無料骨密度測定（100名）

臨床写真などのパネル展示

ワークステーション（3D画像提供）、最新画像のプロジェクター映写、
放射線検査や被ばくに関する相談コーナーの設置

骨粗鬆症に関する指導箋の配布

平成19年度 後期ADセミナー『開催要項』

日本放射線技師会の生涯学習システムにおいて、そのファーストステップとなるアドバンスド放射線技師格を取得するためには、看護学、医療学、救急医療学、医療安全学のすべてのセミナーを修了し、各科目の単位認定試験に合格することが必要となります。これらはいずれも確かな医療技術を国民へ提供する上で欠かせないものであり、診療放射線技師免許取得者すべてが修得しておかねばならないものとして、鹿児島県放射線技師会においてセミナーが開催されます。今回は、DVDメディアを使用し、のセミナーであります。各支部での開催も可能です。奮ってお申し込みください。

科目；「救急医療学」

日程；土日1日を 県、各支部にて決定してください。

会場； 県、各支部にて設定してください。

受講費； 5000円 の予定 テキスト購入の方は、別途必要

※上級救命講習会は、市内にて開催予定。各支部で消防局に依頼しても良い。

科目；「医療学」

日程；土日2日を県、各支部にて決定してください。

会場；県、各支部にて決定してください。

受講費； 5000円 の予定

教材費；希望者は別途（スライド資料1000円、および指定教科書）

科目；「看護学」

日程；土日2日を県、各支部にて決定してください。

会場；県、各支部にて決定してください。

受講費； 5000円 （参加人数によっては変更あり）

教材費；希望者は別途（スライド資料1000円および指定教科書）

※看護学実習がありますので、実習は市内にて実施。

科目；「医療安全学」

日程；土日2日を県、各支部にて決定してください。

会場；県、各支部にて決定してください。

受講費； 5000円

教材費；希望者は別途（スライド資料1000円、および指定教科書）

後期試験の関係上、12月末までに終了しなければなりません。

試験開催日；平成20年2月3日（日）

受講申し込み先；（社）鹿児島県放射線技師会

e-mailアドレス； kuma_kch@yahoo.co.jp

問合せ先； 鹿児島県放射線技師会 教育委員責任者 隈 浩司

鹿児島市立病院 放射線技術科 Tel 099-224-2101（内線 2610）

第14回九州支部主任者研修会

放射線取扱主任者九州支部では、放射線取扱主任者及び放射線管理実務者の方々を対象として、放射線及びその安全管理に関する最新の情報交換と相互親睦を図るため、研修会、施設見学、及び支部交流会を開催します。

今回は、放射線安全管理状況に関する放射線規制室担当官の講演に加え、低線量放射線被ばくの健康影響、宇宙環境医学に関する話題提供とディスカッションを計画しています。鹿児島では初の開催となりますので、どうぞ奮って参加下さい。

日時：11月2日（金）13：00～17：00

場所：鹿児島大学医学部鶴稜会館中ホール

内容

○研修会

1. 放射線安全管理について（仮題）

文部科学省科学技術・学術政策局原子力安全課放射線規制室長（予定）

梶田 啓悟氏

2. 低線量放射線被ばくの健康影響

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 秋葉 澄伯氏

3. 宇宙環境医学

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 馬嶋 秀行氏

○施設見学（鹿児島大学病院）

○支部交流会（18：00～20：00）

場所：鹿児島大学病院内職員食堂

研修会参加費：会員4,000円 会員外5,000円

（テキスト代含む）

支部交流会費：3000円

定員：50名

締切：10月12日〔金〕（定員になり次第締切）

申込方法：参加者氏名、所属、連絡先、電話番号、会員/会員外の別、施設見学参加/不参加、交流会参加/不参加、参加費払い込み方法（郵便振替/銀行振込/当日現金の別）を明記して

はがき、Fax、E-mailのいずれかで下記へ

連絡先：放射線取扱主任者部会事務局

〒113-8941 東京都文京区本駒込2-28-45

日本アイソトープ協会学術課 Tel 03-5395-8081 Fax 03-395-8053

E-mail gakujutsu@jrias.or.jp

＝お知らせ＝

放射線管理士および、放射線機器管理士の認定資格取得に関して

(社)鹿児島県放射線技師会は、日本放射線技師会認定資格である、放射線管理士および、放射線機器管理士の取得に関して、会員の負担軽減および、自己研鑽の手助け、生涯学習の推進の目的で、奨励金の拠出を総会で決定しております。放射線管理士および、放射線機器管理士の認定資格取得に関しては在宅にてDVD学習となり、県の事業より切り離されました。しかし、当技師会としましては、会員1回限り1万円(1科目につき5,000円)の奨励金の拠出を行っております。

これから受講される方は下記の要領で県技師会事務局まで申請してください。

記

必要書類：

申請書 (自由形式で会員氏名・会員番号・受講科目を記載のこと)

受講を証明できる書類等

認定試験受験許可書の写し(日本放射線技師会発行)

または、振込用紙のコピー(期間内の受講を証明できるもの)

奨励金の振込口座番号・名義人等

申請期間：受講申し込み後1年以内

申請先： 県放射線技師会会長宛

現在：〒892-0846 鹿児島県鹿児島市加治屋町20-17

鹿児島市立病院放射線技術科 西本 孝市 宛

※申請は会員1名につき1回限りとする

以上

詳しくは 鹿児島市立病院 中央放射線室 西元辰也まで

TEL：099-224-2101 (2610)

(社) 日本放射線技師会創立 60 周年記念式典報告

会長 西 本 孝 市

日本放射線技師会創立 60 周年記念式典が 5 月 25 日、パレスホテル（東京都）で挙行され、本県技師会からは西本、池田、永田の 3 名が出席しましたので報告致します。

- (1) 来賓ならびに全国の厚生労働大臣表彰受賞者（本県より河野正人氏）の臨席、全国の代議員出席のもと、厳粛に執り行われました。
- (2) 熊谷会長挨拶より、
 - ・ 1947年に本会が創設された。その最大の目的は、エックス線検査を安全に実施するための資格法の制定であり、当時の役員のエネルギッシュな活動で1951年に技師法制定という実を結んだ。
 - ・ 1968年には資格の2分化と再試験いう大きな試練があったが、医療技術の進歩とともに、飛躍的に発展してきた。
 - ・ この60年間、国民医療に貢献してきた自負と誇りを持つとともに、国民の医療に対する意識の変化に対応しなければならない。
 - ・ 21世紀においても、医療の中で重要な職種であり続けられるよう頑張りたい。
- (3) 記念講演会は、自治医科大学の高久文磨学長による「医療の安全と質」との演題でありました。
- (4) 記念祝賀会も同ホテルにて、盛大かつ和やかに行われました。

第64回日本放射線技師会定期総会報告

会長 西本孝市

第64回日本放射線技師会定期総会が5月26日、星陵会館（東京都）で開催され、本県技師会からは西本、池田、永田の3名が代議員として出席しましたので報告致します。

- (1) 平成18年度の事業・決算報告ならびに平成19年度の事業計画・予算案については、採決の結果、保留とする代議員が数名ありましたが賛成多数により承認されました。
- (2) 18年度の総括としては、医療法の改正やがん対策基本法の成立により放射線技師の重要性が増してきました。これは日本放射線技師会の要望や提案が取り入れられた結果であり、高く評価すべきだと思います。
- (3) 医療資格者の免許更新制度が、政府の規制改革民間解放推進会議の答申により明確化されました。更新制を制度化するかどうかは、19年度末までに最終決定される見込みです。更新に必要な要件に「生涯学習システム」を認めてもらうよう働きかけていくこととなります。
- (4) 新公益法人に移行するために必要な定款の改正案については、執行部が委任状を多数持っているため、審議はされず承認された旨の報告だけがありました。
- (5) 参議員選挙の自民党比例代表候補予定の、中西 茂昭氏の応援要請が、日本放射線技師連盟副会長よりありました。

第 81 回社団法人鹿児島県放射線技師会通常総会議事録

総会次第

1. 開会の辞
2. 会長挨拶
3. 表彰
4. 資格審査
5. 議長団選出
6. 議事録署名人選出
7. 議事
 - 議案第 1 号
 - 平成 18 年度会務報告に関する件
 - 議案第 2 号
 - 平成 18 年度決算報告に関する件
 - 議案第 3 号
 - 平成 18 年度監査報告に関する件
 - 議案第 4 号
 - その他
8. 議長団解任
9. その他
10. 閉会の辞

- ・日時：平成19年6月23日（土）15時30分～16時30分
- ・場所：鹿児島県歴史資料センター黎明館 講堂
〒892-0853 鹿児島市城山町7-2
- ・正会員数 446名（平成19年6月1日現在）
- ・出席会員数 64名 委任状数 167名 合計 231名

総会開始

1. 開会の辞

池田陸副会長による第81回総会開会の辞が行われた。

2. 会長挨拶

西本孝市会長の挨拶が行われた。

3. 表彰

（社）鹿児島県放射線技師会に善意の奉仕をいただいた、谷俊雄氏に感謝状および、記念品が贈られた。

4. 資格審査

資格審査について、永田隆二総務理事より正会員数446名（平成19年6月1日現在）のうち231名（書面表決者167名を含む）が出席し総会が成立した旨の報告が行われた。

5. 議長団選出

会場からの立候補はなく、執行部より正議長に北薩病院の下吉則孝氏、副議長に今村病院の脇田慎一氏を推薦し、満場一致で選出された。

議長団登壇

6. 議事録署名人選出

会場からの立候補はなく、執行部より議事録署名人として、西本孝市会長と小林保浩理事を推薦し、満場一致で両氏が選出された。

7. 議事

正議長：早速議事を始めます。質疑並びに採決については議事議案第1号から議事議案第3号まで一括して行いたいと思いますが会場の方々よろしいでしょうか。

会 場：異議なしの声あり。

正議長：では、議事議案第1号から議事議案第3号まで執行部の説明をお願いします。

- 1) 議事議案第1号 平成18年度会務報告について
- | | | | | |
|--------|----------|------|------|----|
| 平成18年度 | 事業報告(総括) | 鮫嶋宗俊 | 会長 | 報告 |
| | 活動報告 | 隈浩司 | 総務理事 | 報告 |
| | | 新村栄次 | 学術理事 | 報告 |
| | | 内田一正 | 広報理事 | 報告 |
| | | 原口誠 | 福利厚生 | 報告 |
| | | | 組織表彰 | 報告 |

各理事より別冊配布した総会資料により説明がなされた。

- 2) 議事議案第2号 平成18年度決算報告について
西元辰也財務理事より別冊配布した総会資料により説明がなされた。
- 3) 議事議案第3号 監査報告について
岡田淳徳監事、梶岩男監事より監査報告書を提示された。
議事議案第1号から議事議案第3号までの一括質疑応答に入った。

議長：質問はないでしょうか。

会場より質問なし

議長：ないようですので採決に入ります。

議事議案第1号及び議事議案第3号の説明に意義のない方、挙手をお願いします。

挙手多数で議事議案第1号から議事議案第3号は承認された。

議長交代

- 4) 議事議案第4号 その他について
副議長：議事議案第4号その他に入ります。
執行部並びに会場からのご意見・提案はないでしょうか。

*ここでのその他は議決を有する議題である。

会場より提案なし。

執行部からも提案なし。

副議長：議事議案第4号その他を終わります。

8. 議長団退席

9. その他

総合司会：その他について会員及び執行部から発言をお願いします。

- ・ 西本孝市会長より

(社) 日本放射線技師会の平成19年度総会出席の報告。

平成19年5月26日に行われた日本放射線技師会の総会に出席してきました。平成18年度の事業報告・決算報告、平成19年度の事業計画案・予算案については、賛成多数で議決されました。

今回の総会における大きな議案として、定款改正がありましたが、委任状による賛成票を必要数有しており、審議なく速やかに承認されました。

診療放射線技師免許の更新制度については、平成19年度中に、実施・不実施を含めてその方向性が政府のほうで立案されるようです。

- ・ 石山鹿児島支部長より鹿児島支部の平成18年度の活動報告あり。

- ・ 会場からは特に質問・提案なし。

10. 閉会の辞

すべての審議を終え、本総会が終了し、池田睦副会長により閉会が宣言された。

平成19年7月30日

正義長 下吉則孝
副議長 脇田慎一
議事録署名人 西本孝市
小林保浩

平成19年8月5日

社団法人鹿児島県放射線技師会
会長 西本孝市



第八十一回通常総会風景



平成 18 年度事業報告

1. 総括

社団法人としての社会的使命を果たし県民保健衛生の向上発展に寄与するため、会員の資質の向上及び公益事業を 2 本の柱として事業を推進して来たが、会員各位の絶大なご支援ご協力により、当初の事業計画通り着実に遂行することが出来たことに、心から感謝申し上げます。

会員の資質の向上においては、日本放射線技師会の生涯学習を推進し、国民の求める安全で質の高い医療を提供するために必須のものとして位置づけている AD セミナーの看護学、救急医療学の講習会並びに全国統一認定試験を開催した。またフレッシューズセミナー、リーダー育成研修会、秋季学術大会、春季学術大会、支部研修会、第 13 回放射線学術講演会（鹿兒島県放射線技師会生涯教育講座）、日本放射線技師会佐久川哲副会長講演『国民から求められる放射線技師像とは』、九州地域放射線技師会阿部会長講演『九州地域放射線技師会活性化について』を開催した。特に秋季学術大会は、県技師会の活性化および会員の求心力向上のため各支部右回りで開催しているが、今年度は霧島・始良地区で開催し 66 名の参加があった。また、専門職として根を深く持って取り組まなければならないものとして設けた認定資格である放射線管理士、放射線機器管理士、医療画像情報管理士それぞれの部会を立ちあげた。

公益事業においては、県民のための技師会を念頭に事業を進めた。チャリティーグリーンウオーク、健康ハート、市民健康まつり、原子力防災訓練等への参加。作業環境測定、鹿兒島市夜間急病センター放射線業務の受託。レントゲン週間イベント、市民公開講座を開催した。レントゲン週間イベントは、我々が社団法人の医療専門職団体として県民のために何が出来るかを示すものであるが、山形屋 2 号館 6 階文化ホールと山形屋イベント広場において、「健康と放射線のふれあい展」最新画像パネル展示・画像放映、「骨密度測定」、「乳がん無料検診」、市民公開講座講演「血管のはなし・動脈硬化の予防」・「乳がん体験者からのメッセージ・ピンクリボン運動」・「マンモグラフィー読影・カテゴリー分類」・「最新 CT の有効性・MDCT の使用経験」など今までにない大きなイベントを開催した。各支部からもスタッフを出していただき技師会総力を挙げてのイベントであった。どれだけの市民の方々が来ていただけるか心配であったが、延べ約 330 名の市民の方々が来ていただき大成功であった。また、地域の医療専門職能団体として社会的責任を果たすため構築中であった原子力防災支援及び大災害医療支援体制マニュアルが完成した。鹿兒島県からの要請による川内原子力防災訓練には汚染測定 3 名、健康放射線相談 1 名、通信連絡訓練 1 名の 5 名が参加した。

組織の充実・強化として、技師会運営の透明化を図るため、長年の懸案でもあった非会員及び学生会員の取り扱いについて他団体を調査するなど検討しこの度、明文化した。非会員については、県技師会学術大会参加は 1,000 円、発表は 2,000 円、支部研修会への参加・発表は無料とした。特に支部においては、会員と非会員のつながりも強く門

戸を広げ技師会入会への機会となればと思っている。各研究会についても支部研修会同様の扱いである。学生については技師会入会を促進するため全て無料とした。

上部団体である日本放射線技師の各事業については、日本放射線技師の一構成員である鹿児島県放射線技師会としての責任を果たすため生涯学習の促進、定款改正、「21世紀の医療と福祉を支える会」参議院選挙等について会員へ協力要請を行った。

平成18年度特筆すべきことは、県下6支部が統一された支部運営規定、支部会則において運営されるようになり組織としてしっかりとまとまり、今後の県技師会事業運営に大きな力を発揮できるまでに充実してきたことである。これは各支部長はじめ各支部役員のご尽力の賜物と感謝申し上げたい。

以上、平成18年度事業の概要について報告しましたが、個別詳細については、各担当理事より報告いたします。本年度中にいただきましたご支援ご協力に対しまして、篤くお礼申し上げます。

平成18年度活動報告

総務

技師会員数 446名(平成19年3月31日現在)

新入会 16名

退会 9名

転入 5名、転出 8名

平成18年

4月29日 チャリティーグリーンウオーク参加
 5月17日 会計監査(監事、財務理事、会長)
 5月20日 フレッシュアップセミナー開催(60名参加)
 5月20日 日本放射線技師会総会対策会議(会長)
 5月21日 九州各県会長会議(会長)
 5月21日 健康ハート理事会(隈理事)
 5月22日 第1回県技師会理事会
 6月2日 日本放射線技師会総会代議員出席(会長、宮島理事、原口理事)
 6月7日 市民健康祭り実行委員会・運営委員会(会長)
 6月10日 県技師会総会
 日本放射線技師会佐久川副会長講演
 6月18日 検診マンモグラフィ認定放射線技師資格取得研修会(会長)
 6月20日 鹿兒島市夜間急病センター連絡調整会議(会長、協力者19名全員)
 7月1日 九州放射線医療技術学術大会役員会(会長)
 7月2日 ADセミナー看護学開催(隈理事、宮島理事)
 7月5日 市民健康祭り実行委員会(会長)
 7月5日 健康ハート会議(隈理事)
 7月16日 ADセミナー看護学開催(新村理事、小林理事)
 7月19日 第2回県技師会理事会
 7月30日 ADセミナー看護学開催(有菌理事、西元理事)
 7月31日 鹿兒島市夜間急病センター役員懇談会(会長)
 8月6日 健康ハート参加(山形屋)(スタッフ17名)
 8月7日 市民健康祭り実行委員会(会長)
 8月16日 法務局へ資産変更申請(会長)
 8月17日 法務局へ(会長)
 8月21日 認定資格管理士部会長会議(会長)
 8月25日 市民健康祭り実行委員会(会長)
 8月31日 椿監事父通夜(会長)
 9月9日 南薩支部研修会(会長、有菌理事)

9月13日 第3回県技師会理事会
 9月23日 支部長会議
 リーダー育成研修会
 10月1日 ADセミナー4科目試験開催
 10月6日 全国会長会議(会長)
 10月11日 原子力防災訓練打ち合せ(会長)
 10月15日 市民健康祭り(鹿兒島アリーナ)
 10月28日 レントゲン週間イベント開催(山形屋)
 11月9日 市民健康祭り会議(大久保副会長)
 11月15日 第4回県技師会理事会
 11月17日 原子力防災訓練(会長、瀬戸、西元、三反田、四本)
 (社)鹿兒島県栄養士会保健文化賞受賞祝賀会(会長)
 11月19日 日本放射線技師会教育委員養成研修会(小林理事、隈理事)
 11月26日 県技師会秋季学術大会(霧島市立医師会医療センター)
 11月26日 医療画像情報管理士試験開催
 11月29日 鹿兒島市夜間急病センター連絡調整会議及び小児撮影研修会
 12月2日 鹿兒島支部研修会(JA厚生連健康管理センター)
 12月3日 放射線機器管理士・放射線管理士認定試験開催
 12月13日 市民健康祭り反省会(新村理事)
 12月17日 ADセミナー救急医療学開催
 12月31日 技師会事務所年末大掃除(会長)

平成19年

1月13日 県医師会賀詞交換会(会長)
 1月14日 ADセミナー救急医療学開催
 1月17日 第5回県技師会理事会
 1月20日 九州地域放射線技師会役員会(会長)
 1月21日 九州各県会長会議(会長)
 1月27日 霧島・始良支部研修会(加治木温泉病院)
 1月28日 新村理事父通夜(会長)
 2月3日 川薩支部研修会(阿久根市民病院)(会長、副会長)
 2月10日 大島支部研修会(名瀬徳州会病院)(会長)
 2月13日 原子力防災支援及び大災害医療支援体制構築委員会

- | | |
|--|---|
| 2月17日 大隈支部研修会(鹿屋医療センター)(会長) | 会場：鹿屋県民健康プラザ医療センター |
| 2月18日 九州放射線医療技術学術大会役員会(会長) | 内容：教育講演 |
| 2月24日 南薩支部研修会(小原病院)(会長) | 会員発表 |
| 3月10日 九州地域放射線技師会理事会(会長) | 5. 大島支部研修会 |
| 3月11日 県技師会総会
春季学術大会
九州地域放射線技師会阿部会長講演 | 日時：平成19年2月10日(土)
会場：名瀬徳州会病院
内容：会員発表 |
| 3月14日 鹿児島地区「緊急被ばく医療ネットワーク
検討会」(会長) | 教育講演 |
| 3月22日 第6回県技師会理事会 | 6. 霧島・始良支部研修会 |
| 3月24日 全国会長会議(会長) | 日時：平成19年1月27日(土) |
| 3月25日 放射線機器管理士・放射線管理士認定試験
開催 | 会場：加治木温泉病院
内容：会員発表
特別講演 |

学 術

I. 支部研修会・学術大会

1. 鹿児島支部研修会

日時：平成18年12月2日(土)
会場：JA厚生連健康管理センター
内容：特別講演
教育講演
会員発表

2. 南薩支部研修会

日時：平成18年9月10日(土)
会場：県立南薩病院
内容：教育講演
特別講演

日時：平成19年2月24日(土)
会場：小原病院
内容：教育講演
会員発表

3. 川薩支部研修会

日時：平成19年2月30日(土)
会場：阿久根市民病院
内容：教育講演
会員発表

4. 大隈支部研修会

日時：平成19年2月17日(土)

II. 学術大会

1. 平成18年度鹿児島県放射線技師会 秋季学術大会

日時：平成18年11月28日(日)
会場：霧島市医師会医療センター
内容：会員発表 8題
シンポジウム 4題
【医療情報の現状と今後】

2. 平成18年度鹿児島県放射線技師会 学術大会

日時：平成19年3月11日(日)
会場：鹿児島県歴史資料館 黎明館 2階 講堂
内容：会員発表 7題
特別講演 「九州地域放射線技師会の活性化に向けて」
- 韓国・台湾・シンガポール学術大会, ACRT 報告 -
九州地域放射線技師会会長
阿部一之 先生
シンポジウム 5題
【最新医療技術】

III. 研究会

1. 鹿児島消化管研究会

2. 鹿児島県乳房撮影技術研究会

3. DR研究会

IV. ADセミナー

【看護学】

日時：平成18年7月2日（日）
7月23日（日）7月30日（日）

会場：鹿児島大学病院 臨床第二実習室

【救急医療学】

日時：平成18年12月17日（日）
平成19年1月14日（日）

会場：消防総合訓練研修センター
JA厚生連健康管理センター

平成18年度ADセミナー全国統一試験

日時：第1回 平成18年10月1日（日）
会場：鹿児島大学病院 第4講義室
日時：第2回 平成19年3月4日（日）
会場：鹿児島大学病院 臨床第二実習室

V. 認定試験

医療画像情報管理士

日時：平成18年11月26日（日）
会場：鹿児島県民総合保険センター

放射線機器管理士・放射線管理士

日時：平成18年12月3日（日）
会場：鹿児島大学病院 臨床第二実習室

VI. フレッシュアップセミナー

日時：平成18年5月21日（土）
会場：JA厚生連健康管理センター

【広報・編集】

1. 鹿児島県放射線技師会会報発行
第104号（平成18年9月）
第105号（平成19年1月）
2. 鹿児島県放射線技師会ニュース発行
第52号（平成18年5月）
3. 総会資料作成
第79回（平成18年6月）
第80回（平成19年3月）
4. 谷俊雄氏叙勲祝賀会写真撮影およびアルバム編集

5. 行事等の写真撮影および編集

6. 鹿児島市医師会夜間急病センターに関する業務
（勤務表作成、連絡網作成、等）

【福利・厚生】

1. 谷 俊雄先生 叙勲受章記念祝賀会
日時：平成19年3月11日（日） 17:00～
場所：ホテル吹上荘
2. リーダー育成研修会（懇親会）
日程：平成18年9月23日（土）
場所：茜どき
3. ボーリング大会
日時：平成19年2月18日（日） 10:00～
場所：鹿児島国際ボウル
1位 川薩チーム、2位 南薩チーム、3位 霧島・始良チーム（参加31名）

【組織・表彰】

1. フレッシュアップセミナーにて会員勧誘を実施
2. 日本放射線技師会永年勤続表彰
永年勤続30年表彰 森山 正 氏
永年勤続30年表彰 橋口 孝 氏
3. 診療放射線業務功労者の厚生労働大臣表彰候補者の推薦を行った
河野 正人氏

収支計算書総括表

社団法人 鹿児島県放射線技師会

平成18年4月1日から平成19年3月31日まで

(単位:円)

勘定科目	
I 事業活動収支の部	
1. 事業活動収入	
入会金収入	55,000
会費収入	3,645,000
事業収入	1,367,000
補助金等収入	532,160
負担金収入	7,662,500
雑収入	380,311
事業活動収入計 (A)	13,641,971
2. 事業活動支出	
(1) 事業費支出	
①事業対策費	253,900
②学術研究事業費	991,024
③支部助成金	420,000
④出版事業費	397,600
⑤福利厚生費	101,912
⑥放射線啓発事業費	930,169
⑦本部会費負担金	7,410,000
⑧通信運搬費	30,800
⑨その他必要経費	126,045
(2) 管理費支出	1,885,009
①会議費	236,050
②旅費交通費	644,620
③需要費	675,345
④渉外費	54,528
⑤賃貸費	41,406
⑥事務所運営費	149,599
⑦租税公課	51,000
⑧雑費	32,461
事業活動支出計 (B)	12,546,459
事業活動収支差額 (A)-(B)	1,095,512
II 投資活動収支の部	
1. 投資活動収入	
投資活動収入計	
2. 投資活動支出	
投資活動支出計	
投資活動収支差額	
III 財務活動収支の部	
1. 財務活動収入	
財務活動収入計	
2. 財務活動支出	
財務活動支出計	
財務活動収支差額	
IV 予備費支出	
当期収支差額	1,095,512
前期繰越収支差額	12,824,107
次期繰越収支差額	13,919,619

社団法人 鹿児島県放射線技師会

収支計算書

平成18年4月1日から平成19年3月31日まで

(単位:円)

勘定科目	予算額	決算額	差異
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
入会金収入	50,000	55,000	5,000
日本放射線技師会入会金収入	50,000	55,000	5,000
会費収入	3,589,000	3,645,000	56,000
正会員会費収入	3,269,000	3,066,000	△ 203,000
準会員会費収入	320,000	320,000	0
過年度正会員会費収入		259,000	259,000
事業収入	1,690,000	1,367,000	△ 323,000
研修会会費収入	550,000	593,000	43,000
広告収入	840,000	480,000	△ 360,000
環境測定事業収入	300,000	294,000	△ 6,000
補助金等収入	400,000	532,160	132,160
民間補助金収入	400,000	532,160	132,160
負担金収入	7,530,500	7,662,500	132,000
日本放射線技師会会費負担金収入	6,905,000	6,524,000	△ 381,000
九州地域放射線技師会会費負担金	233,500	219,500	△ 14,000
全国総合学術大会会費負担金	100,000	20,000	△ 80,000
市医師会負担金	292,000	292,000	0
過年度日本放射線技師会負担金収入		570,000	570,000
過年度九州地域放射線技師会会費負担金		37,000	37,000
雑収入	310,000	380,311	70,311
受取利息収入	10,000	311	△ 9,689
雑収入	300,000	380,000	80,000
他会計からの繰入金収入			
他会計からの繰入金収入			
事業活動収入計 (A)	13,569,500	13,641,971	72,471

収支計算書

社団法人 鹿児島県放射線技師会

平成18年4月1日から平成19年3月31日まで

(単位:円)

勘定科目	予算額	決算額	差異
2. 事業活動支出			
(1) 事業費支出	11,469,500	10,661,450	△ 808,050
① 事業対策費	635,000	253,900	△ 381,100
広報活動費	25,000	0	△ 25,000
調査事業費	50,000	6,590	△ 43,410
講習会対策費	120,000	37,340	△ 82,660
渉外対策費	10,000	10,000	0
旅費交通費支出	140,000	90,460	△ 49,540
表彰対策費	40,000	0	△ 40,000
出版物頒布費	250,000	109,510	△ 140,490
② 学術研究事業費	1,072,000	991,024	△ 80,976
鹿児島県学術大会費	100,000	153,000	53,000
生涯教育セミナー費	650,000	705,024	55,024
学術助成金	60,000	60,000	0
管理士部会費	90,000	0	△ 90,000
夜間急病センター研修委託費	172,000	73,000	△ 99,000
③ 支部助成金	420,000	420,000	0
鹿児島支部助成金	150,000	150,000	0
川薩支部助成金	50,000	50,000	0
大隅支部助成金	50,000	50,000	0
大島支部助成金	50,000	50,000	0
霧島始良支部助成金	50,000	50,000	0
南薩支部助成金	70,000	70,000	0
④ 出版事業費	840,000	397,600	△ 442,400
会報印刷費	640,000	369,250	△ 270,750
小冊子印刷費	100,000	0	△ 100,000
ニュース印刷費	100,000	28,350	△ 71,650
⑤ 福利厚生費	140,000	101,912	△ 38,088
慶弔費	40,000	40,000	0
レクレーション費	100,000	61,912	△ 38,088
⑥ 放射線啓発事業費	800,000	930,169	130,169
環境測定事業費	200,000	214,000	14,000
ホームページ運営費	50,000	37,800	△ 12,200
放射線展費	50,000	49,889	△ 111
関連団体会議費	450,000	628,480	178,480
放射線管理士事業費	50,000	0	△ 50,000
⑦ 本部会費負担金	7,288,500	7,410,000	121,500
日本放射線技師会費	6,955,000	6,804,000	△ 151,000
九州地域放射線技師会費	233,500	221,000	△ 12,500
全国総合学術大会会費	100,000	25,000	△ 75,000
過年度日本放射線技師会負担金		360,000	360,000
⑧ 通信運搬費	75,000	30,800	△ 44,200
通信運搬費支出	75,000	30,800	△ 44,200
⑨ その他必要経費	199,000	126,045	△ 72,955
保険料	10,000	0	△ 10,000
租税公課支出	50,000	124,945	74,945
雑支出	139,000	1,100	△ 137,900

社団法人 鹿児島県放射線技師会

収支計算書

平成18年4月1日から平成19年3月31日まで

(単位:円)

勘定科目	予算額	決算額	差異
(2) 管理費支出	2,100,000	1,885,009	△ 214,991
① 会議費	350,000	236,050	△ 113,950
総会費	210,000	214,977	4,977
理事会費	20,000	7,095	△ 12,905
委員会費	60,000	11,728	△ 48,272
支部長会費	50,000	2,250	△ 47,750
部会会議費	10,000		△ 10,000
② 旅費交通費	780,000	644,620	△ 135,380
会長会議旅費	450,000	436,760	△ 13,240
理事会旅費	40,000	25,500	△ 14,500
委員会旅費	150,000	146,360	△ 3,640
支部長会議旅費	120,000	36,000	△ 84,000
部会会議旅費	20,000		△ 20,000
③ 需要費	460,000	675,345	215,345
什器・備品費	100,000	564,200	464,200
備品管理費	100,000		△ 100,000
消耗品費支出	30,000	50,079	20,079
印刷製本費	50,000	20,000	△ 30,000
通信運搬費支出(管理)	50,000	21,066	△ 28,934
夜間急病センター通信費	120,000	20,000	△ 100,000
部会通信費	10,000		△ 10,000
④ 渉外費	50,000	54,528	4,528
役員渉外費	50,000	54,528	4,528
⑤ 賃貸費	100,000	41,406	△ 58,594
賃貸料支出	100,000	41,406	△ 58,594
⑥ 事務所運営費	234,000	149,599	△ 84,401
維持管理費	140,000	75,793	△ 64,207
事務所雑費	20,000	1,260	△ 18,740
火災保険料支出	74,000	72,546	△ 1,454
⑦ 租税公課	56,000	51,000	△ 5,000
租税公課支出(管理)	56,000	51,000	△ 5,000
⑧ 雑費	70,000	32,461	△ 37,539
雑支出	70,000	32,461	△ 37,539
事業活動支出計 (B)	13,569,500	12,546,459	△ 1,023,041
事業活動収支差額 (A) - (B)	0	1,095,512	1,095,512

社団法人 鹿児島県放射線技師会

収支計算書

平成18年4月1日から平成19年3月31日まで

(単位:円)

勘定科目	予算額	決算額	差異
Ⅱ 投資活動収支の部			
1. 投資活動収入			
(2) 特定資産取崩収入			
減価償却引当資産取崩収入			
投資活動収入計			
2. 投資活動支出			
(2) 特定資産取得支出			
減価償却引当資産取得支出			
投資活動支出計			
投資活動収支差額			
Ⅲ 財務活動収支の部			
1. 財務活動収入			
財務活動収入計			
2. 財務活動支出			
財務活動支出計			
財務活動収支差額			
Ⅳ 予備費支出	11,724,294	0	△ 11,724,294
当期収支差額	△ 11,724,294	1,095,512	12,819,806
前期繰越収支差額	11,724,294	12,824,107	1,099,813
次期繰越収支差額	0	13,919,619	13,919,619

計算書類に対する注記

(社)鹿児島県放射線技師会

平成19年 3月31日現在

1. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却について

什器備品、事務所備品、事務所(建物)について:

定額法にて減価償却を行っている。

残存価額は取得価額の10%とする。

減価償却期間について

什器備品及び、事務所備品については6年

不動産に関しては建物は25年

(2) 資金の範囲

資金の範囲には、流動資産、流動負債のすべてを含めることにしている。

なお、当期末残高は下記2に記載するとおりである。

2. 次期繰越収支差額の内容は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	
1. 流動資産		
現金預金	13,576,619	
未収会費	1,210,500	
小計		14,787,119
2. 流動負債		
未払金	795,000	
前受金	72,500	
小計		867,500
合計		13,919,619
次期繰越収支差額		13,919,619

3. 固定資産の取得価額、取得日、当期減価償却額、累積減価償却額及び、期末評価額については次のとおりである。

科 目	名 称	取得価格	取得日	減価償却回数	当期減価償却額	累積減価償却額	期末評価額
什器備品	サーバイメーター	278,718	平成 元年	5	41,808	209,040	69,678
	パソコン一式	528,390	平成 8年	5	79,259	396,295	132,095
	ビデオ・デッキ	27,300	平成 9年	5	4,095	20,475	6,825
	線量計ケース	31,500	平成 9年	5	4,725	23,625	7,875
	DVDレコーダー	96,495	平成15年	4	14,474	57,896	38,599
	ノートパソコン	168,000	平成15年	4	25,200	100,800	67,200
	PCプロジェクター	577,500	平成15年	4	86,625	346,500	231,000
	デジタルカメラ	52,500	平成15年	4	7,875	31,500	21,000
	DVビデオカメラ	94,500	平成15年	4	14,175	56,700	37,800
	財務会計システム	564,200	平成18年	1	84,630	84,630	479,570
不動産	建物(事務所)	11,330,000	平成11年	5	407,880	2,039,400	9,290,600
	土地	7,900,000	平成11年	0	0	0	7,900,000
事務所備品	コピー機	192,000	平成11年	5	28,800	144,000	48,000
	テレビ	30,390	平成11年	5	4,559	22,795	7,595
	エアコン	205,560	平成11年	5	30,834	154,170	51,390
	エアコン	53,330	平成11年	5	8,000	40,000	13,330
	電話機	45,330	平成11年	5	6,800	34,000	11,330
	ベッド	59,800	平成11年	5	8,970	44,850	14,950
	事務机	31,000	平成11年	5	4,650	23,250	7,750
	キャビネット(2)	104,000	平成11年	5	15,600	78,000	26,000
	書架	59,840	平成11年	5	8,976	44,880	14,960
	収納棚	34,000	平成11年	5	5,100	25,500	8,500
	ホワイトボード	38,000	平成11年	5	5,700	28,500	9,500

平成19年 3月31日現在

社団法人 鹿児島県放射線技師会

貸借対照表

平成19年3月31日現在

科 目	(単位:円)		
	当年度	前年度	増 減
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	13,576,619	12,824,107	752,512
現金	4,993	10,515	△ 5,522
郵便振替口座	7,488,404	6,416,244	1,072,160
定期郵便貯金	5,899,000	5,899,000	0
鹿児島銀行普通預金	184,222	498,348	△ 314,126
未収会費	1,210,500		1,210,500
流動資産合計	14,787,119	12,824,107	1,963,012
2. 固定資産			
(1)基本財産			
土地	7,900,000	7,900,000	0
建物	11,330,000	11,330,000	0
減価償却累計額 △	2,039,400	1,631,520	△ 407,880
基本財産合計	17,190,600	17,598,480	△ 407,880
(2)特定資産			
(3)その他固定資産			
什器備品	3,272,353	2,708,153	564,200
減価償却累計額 △	1,967,406	1,476,551	△ 490,855
その他固定資産合計	1,304,947	1,231,602	73,345
固定資産合計	18,495,547	18,830,082	△ 334,535
資産の部合計	33,282,666	31,654,189	1,628,477
II. 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	795,000	0	795,000
前受金	72,500	0	72,500
流動負債合計	867,500	0	867,500
2. 固定負債			
負債の部合計	867,500	0	867,500
III. 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
2. 一般正味財産	32,415,166	31,654,189	760,977
(うち基本財産への充当額)	(17,190,600)	(17,598,480)	(△ 407,880)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
一般正味財産	32,415,166	31,654,189	760,977
正味財産の部合計	32,415,166	31,654,189	760,977
負債及び正味財産合計	33,282,666	31,654,189	1,628,477

正味財産増減計算書

社団法人 鹿児島県放射線技師会

平成18年4月1日から平成19年3月31日まで

(単位: 円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取入会金	55,000	0	55,000
日本放射線技師会入会金	55,000	0	55,000
受取会費	3,645,000	3,199,000	446,000
鹿児島県放射線技師会会費	3,066,000	3,079,000	△ 13,000
準会員会費	300,000	120,000	180,000
過年度鹿児島放射線技師会会費収入	259,000	0	259,000
過年度準会員会費	20,000	0	20,000
事業収益	1,367,000	2,237,600	△ 870,600
研修会会費収益	593,000	1,133,600	△ 540,600
広告収入	480,000	760,000	△ 280,000
環境測定事業収入	294,000	344,000	△ 50,000
受取補助金等	532,160	392,900	139,260
受取民間補助金	532,160	392,900	139,260
受取負担金	7,662,500	7,028,000	634,500
日本放射線技師会負担金	6,524,000	6,588,000	△ 64,000
九州地域放射線技師会会費負担金	219,500	440,000	△ 220,500
全国総合学術大会会費負担金	20,000	0	20,000
市医師会負担金	292,000	0	292,000
過年度日本放射線技師会会費負担金	570,000	0	570,000
過年度九州地域放射線技師会負担金収入	37,000	0	37,000
雑収益	380,311	366,118	14,193
受取利息	311	13	298
雑収益	380,000	366,105	13,895
経常収益合計	13,641,971	13,223,618	418,353

正味財産増減計算書

社団法人 鹿児島県放射線技師会

平成18年4月1日から平成19年3月31日まで

(単位: 円)

科 目	当年度	前年度	増 減
(2) 経常費用			
事業費	10,661,450	10,862,353	△ 200,903
① 事業対策費	253,900	407,177	△ 153,277
調査事業費	6,590	85,160	△ 78,570
講習会対策費	37,340	55,600	△ 18,260
渉外対策費	10,000	0	10,000
旅費交通費	90,460	68,260	22,200
表彰対策費	0	25,368	△ 25,368
出版物頒布費	109,510	172,789	△ 63,279
② 学術研究事業	991,024	1,112,188	△ 121,164
鹿児島県学術大会費	153,000	90,616	62,384
生涯教育セミナー費	705,024	961,572	△ 256,548
学術助成金	60,000	60,000	0
夜間急病センター研修委託費	73,000	0	73,000
③ 支部助成金	420,000	400,000	20,000
鹿児島支部助成金	150,000	150,000	0
川薩支部助成金	50,000	50,000	0
大隅支部助成金	50,000	50,000	0
大島支部助成金	50,000	50,000	0
霧島始良支部助成金	50,000	50,000	0
南薩支部助成金	70,000	50,000	20,000
④ 出版事業費	397,600	581,065	△ 183,465
会報印刷費	369,250	541,065	△ 171,815
小冊子印刷費	0	0	0
ニュース印刷費	28,350	40,000	△ 11,650
⑤ 福利厚生費	101,912	67,983	33,929
慶弔費	40,000	0	40,000
レクリエーション費	61,912	67,983	△ 6,071
⑥ 放射線啓発事業費	930,169	761,090	169,079
環境測定事業費	214,000	260,000	△ 46,000
ホームページ運営費	37,800	38,010	△ 210
放射線展費	49,889	44,975	4,914
関連団体会議費	628,480	418,105	210,375
⑦ 本部会費負担金	7,410,000	7,081,000	329,000
日本放射線技師会費	6,804,000	6,653,000	151,000
九州地域放射線技師会費	221,000	428,000	△ 207,000
全国総合学術大会会費	25,000	0	25,000
過年度日本放射線技師会負担金	360,000	0	360,000
⑧ 通信運搬費	30,800	37,000	△ 6,200
通信運搬費	30,800	37,000	△ 6,200
⑨ その他必要経費	126,045	414,850	△ 288,805
租税公課	124,945	0	124,945
雑費	1,100	414,850	△ 413,750

正味財産増減計算書

社団法人 鹿兒島県放射線技師会

平成18年4月1日から平成19年3月31日まで

(単位: 円)

科 目	当年度	前年度	増 減
管理費	1,885,009	1,261,452	623,557
①会議費	236,050	214,660	21,390
総会費	214,977	196,996	17,981
理事会費	7,095	3,794	3,301
委員会費	11,728	11,910	△ 182
支部長会費	2,250	1,960	290
②旅費交通費	644,620	605,670	38,950
会長会議旅費	436,760	479,145	△ 42,385
理事会旅費	25,500	28,500	△ 3,000
委員会旅費	146,360	4,000	142,360
支部長会議旅費	36,000	94,025	△ 58,025
③需要費	675,345	103,055	572,290
什器・備品費	564,200	0	564,200
消耗品費	50,079	21,900	28,179
印刷製本費	20,000	42,315	△ 22,315
通信運搬費	21,066	38,840	△ 17,774
夜間急病センター通信費	20,000	0	20,000
④渉外費	54,528	28,940	25,588
役員渉外費	54,528	28,940	25,588
⑤貸貸費	41,406	0	41,406
貸貸費	41,406	0	41,406
⑥事務所運営費	149,599	213,239	△ 63,640
維持管理費	75,793	209,709	△ 133,916
雑費	1,260	3,530	△ 2,270
保険料	72,546	0	72,546
⑦租税公課	51,000	0	51,000
租税公課(固定資産税)	51,000	0	51,000
⑧雑費	32,461	95,888	△ 63,427
雑費	32,461	95,888	△ 63,427
減価償却費	898,735	814,105	84,630
経常費用合計	13,445,194	12,937,910	507,284
当期経常増減額	196,777	285,708	△ 88,931
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
当期固定資産増加額	564,200		564,200
経常外収益合計	564,200		564,200
(2) 経常外費用			
経常外費用合計			
当期経常外増減額			
当期一般正味財産増減額	760,977	285,708	475,269
一般正味財産期首残高	31,654,189	31,368,481	285,708
一般正味財産期末残高	32,415,166	31,654,189	760,977
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増加額			
指定正味財産期首残高			
指定正味財産期末残高			
III 正味財産期末残高	32,415,166	31,654,189	760,977

社団法人 鹿児島県放射線技師会

財産目録

平成19年3月31日現在

(単位:円)

科 目	金 額	
I 資産の部		
1. 流動資産		
現金預金	13,576,619	
現金	4,993	
郵便振替口座	7,488,404	
定期郵便貯金	5,899,000	
鹿児島銀行普通預金	184,222	
未収会費	1,210,500	
流動資産合計		14,787,119
2. 固定資産		
(1) 基本財産		
土地	7,900,000	
建物	11,330,000	
減価償却累計額 △	2,039,400	
基本財産合計	17,190,600	
(2) 特定資産		
特定資産合計	0	
(3) その他固定資産		
什器備品	3,272,353	
減価償却累計額 △	1,967,406	
その他固定資産合計	1,304,947	
固定資産合計		18,495,547
資産の部合計		33,282,666
II 負債の部		
1. 流動負債		
未払金	795,000	
前受金	72,500	
流動負債合計		867,500
2. 固定負債		
固定負債合計		
負債の部合計		867,500
正味財産		32,415,166

平成18年度監査報告

(社)鹿児島県放射線技師会定款第14条第4項に基づき、平成19年1月16日中間監査、ならびに平成19年5月18日の2回にわたり、放射線技師会事務所において、平成18年度会務監査及び会計監査を実施したので報告する。

1. 総評

医療社会の構造改革に伴い医療費抑制政策、高齢者医療費負担増と医療を取り巻く環境は益々厳しさを増している。その中であって、診療放射線技師の環境もより専門的な知識と技術・技能を有することを求められ、当技師会は引き続き今年度も各種イベントへの参加、学習・講習会等を開催し、啓発活動を実施されている。また、時代の要請に伴い、生涯学習セミナーを精力的に開催し毎回多くの会員の参加がある。これは、会員が国民医療向上に貢献しようとして努力している、現われと信じている。これらの事業開催に会長はじめ、全理事一丸となって、多忙な日常業務の中で取り組んでおられる事に敬意を評する。

2. 事業状況

今年度も、生涯学習セミナー、フレッシューズセミナー、リーダー研修会鹿児島県夜間急病センター放射線業務受託、鹿児島県からの参加要請の川内原子力防災訓練、レントゲン週間イベント等の事業を、会長はじめ全理事の精力的な運営の下に開催されたことは、おおいに評価するところである。これは、(社)鹿児島県放射線技師会が、公益法人として着実に地域社会に根付いてきている証である。

3. 財政状況

厳しい財政状況でありながら、会報印刷費および事業経費等の削減に努力され、効果的に事業の遂行を試みた点を評価する。また、多忙な日常業務の中で的確な会計業務が行われていることに敬意を評する。

以上、本会の事業及び財務について監査を実施した。

その結果、予算執行は計画に基づき適正かつ効率のよい運営がなされていると共に、収支計算書ならびに証拠書類などを審査した結果、諸帳簿類の記載ならびに会計処理は、間違いなく適正に処理されていることを認める。

最後に、事業運営に対する会員のご協力とご努力に敬意を表し、会長をはじめ理事各位に感謝とお礼を申し上げます。

社団法人鹿児島県放射線技師会

会長 鮫嶋宗俊

平成19年6月23日

監事 岡田淳徳

監事 杉 岩雄



平成19年度事業計画

社団法人鹿児島県放射線技師会定款にのっとり、会員の資質の向上及び公益事業を2本の柱として事業を推進し、県民に頼りとされる技師会となるよう県民保健衛生の向上発展に寄与し社団法人としての社会的使命を果たす。

1. 生涯学習の推進

現在の高度化し多様化した医療に対しては専門性を高めなければ対応できない状況にある。日本放射線技師会が国民の求める安全で質の高い医療を提供するためには必須のものとしているADセミナー及び認定資格取得の推進を図る。

(1) アドバンスド技師格取得のための講習会開催

- ① 医療学、医療安全学
- ② その他

(2) 全国統一認定試験の開催

- ① ADセミナー
- ② 認定資格
- ③ その他

2. フレッシュヤーズセミナー開催

新人教育のための接遇や、撮影のコツ、読影のポイントなど臨床現場ですぐに役立つ研修を行う。非会員にも参加を呼びかけ入会を勧める。

3. レントゲン週間に放射線展及び市民公開講座開催

地域社会に医療専門職能団体・社団法人鹿児島県放射線技師会の存在価値を示すことが出来るイベントを企画する。健康と放射線のふれあい展など、県民が適正な医療を受けてもらえるよう、しっかりとした医療情報を提供する。

4. 秋季学術大会を大隅地区で開催

一体感のある会運営により会員の求心力を高め県技師会の活性化を図るため、秋季学術大会を各支部右回りで開催しているが、今年度は大隅支部で開催する。

5. リーダー育成研修会

医療環境が一段と厳しくなる中、各病院において生き残りをかけて様々な改善を図っている。放射線部門の一人ひとりに対しても、何ができるかを真剣に考える時が来ている。放射線部門のリーダーとして病院経営に参画し、各病院の重要な担い手となるための研修会を開催する。

6. 第 8 2 回通常総会時学術大会を開催(3 月)

シンポジウム及び会員研究発表を行うとともに、21 世紀の医療に対応できる医療人としての資質向上に資する講演会を開催する。

7. 支部研修会の実施

6 支部（鹿児島支部、南薩支部、川薩支部、霧島・始良支部、大隅支部、大島支部）研修会を支部長の企画において実施する。

8. 支部長会議開催

支部長会議において意見を調整し事業の円滑な推進を図る。県技師会事業を推進するためには、各支部の充実発展は不可欠である。組織の充実として統一された「支部運営規程」及び「支部会則」に乗って運営されるようになり、6 支部がしっかりまとまり活性化が出てきている。

9. 各研究会の実施

消化管、乳房、DR 研究会を、それぞれの研究会の企画において実施する。

10. ホームページの活用促進

ホームページを充実し、会員、県民に積極的に情報を発信する。

11. 各種イベント等への積極的参加・協力

社団法人として問われるのは、公益事業をどれだけ行っているか、社会にどれだけ還元しているかである。公益事業の増加が技師会発展のバロメーターともなる。市民健康まつり、健康ハート、チャリティーグリーンウオーク、川内原子力防災訓練などに積極的に参加し、公益法人としての社会的役割を果たす。

12. レクリエーションの企画実施

会員相互の連携を密にするためのレクリエーションを開催する。会員同士の意志の疎通や、情報交換は組織の活性化と発展になくてはならない事業である。

13. 原子力防災支援及び大災害医療支援を行う

県技師会の原子力防災支援及び大災害医療支援体制マニュアルに基づき、地域の放射線専門家として、また医療人としての社会的使命を果たす。

14. 地域保健協力事業

鹿児島市医師会より委託を受けた鹿児島市夜間急病センター放射線業務に対して、診療放射線技師を派遣する。責任をもって委託された放射線業務が遂行できるよう業務従

事者の連絡調整会議や研修会を開催する。

15. 管理士部会による研修会開催

チーム医療の中で、我々診療放射線技師に任されている医療分野を責任持って遂行して行くには、日進月歩する医療技術を自分のものとして修得していかなければならない。中でも、専門職として根を深く持って取り組まなければならないものとして設けたものが認定資格である。

県技師会の「管理士部会」は、県民のためにあるべき診療放射線技師職の確立に向け取り組み、それぞれの専門知識や技能を修得し認定資格を更新するための研修会を開催する。

16. 県技師会創立60周年記念式典開催

昭和22年11月に創設され60年という長い歴史の中で過去の様々な苦難を乗り越え、名実ともに揺るぎない医療専門職能団体となった。医療専門職能団体として関係団体にアピールすると共に、歴代会長はじめ先輩方のご苦勞や、歴史をふり返る良い機会とする。

17. 平成21年度 放射線技師総合学術大会及び日韓台合同学術大会開催準備

日本放射線技師会を構成する一員である鹿児島県放射線技師会としての役割を果たし、専門職制向上のため鹿児島の地から診療放射線技師職を国民へ向けアピールする。会員450名の総力を挙げて準備し成功させたい。

18. 公益法人制度改革に伴う定款改正の準備

法律改正により、現在の県技師会の活動や事業を継続して行くには、新たに公益社団法人としての認定を受ける必要があり、定款改正の準備を行う。

19. その他、必要な事業

事業実施項目	事業内容
1. 啓発・普及事業 ・放射線展の実施 ・環境測定の実施	市民健康まつり、健康ハート、レントゲンイ週間イベント等において、パネル展示、X線写真展示、放射線相談、画像ビデオ放映などを行い、医療用放射線の啓発に努める。 各病院からの依頼による環境測定を行い、環境測定の意識啓発に努めると共に、放射線取扱いや作業環境の改善指導を行う。

<p>2. 出版事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会報発行 ・ニュース発行 	<p>会誌の内容充実に努める。 年2回、約1,000部。 緊急連絡などに年2回程度、約1,000部。</p>
<p>3. 福利・厚生事業</p>	<p>叙勲、県知事表彰などの申請を行う。 会員のための親睦会等を企画する。 会員の慶弔見舞いを実施する。</p>
<p>4. 組織事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・組織の充実・強化 	<p>フレッシュャーズセミナーやその他行事に非会員にも参加を呼びかけ、入会を勧めるなど組織率の向上を図る。</p>
<p>5. 助成事業</p>	<p>県下6各支部及び消化管、乳房、DR研究会等の活動に対して助成を行う。</p>
<p>6. 委員会事業</p>	<p>必要に応じ各種委員会を設置し、技師会運営の円滑化を図る。 (ホームページ、環境測定、表彰、選挙管理、原子力防災支援及び大災害医療支援体制構築)</p>
<p>7. その他の事業</p>	<p>上部団体である日本放射線技師の各事業について、全国の都道府県技師会と足並みを揃え、積極的に協力を行う。</p>

平成19年度 予 算 書

1. 収支予算書総括表

自 平成19年4月 1日

至 平成20年3月31日

社団法人 鹿児島県放射線技師会

I. 収入の部

科 目	金 額 (円)
会費入会金収入	50,000
会費収入	3,582,000
事業収入	1,880,000
補助金収入	450,000
負担金収入	7,515,000
前期建物減価償却引当金戻り入れ	407,880
前期備品減価償却引当金戻り入れ	490,855
雑収入	310,000
前年度繰入金	12,824,107
当期収入合計 (A)	27,509,842
前期繰越収支差額	0
収入合計 (B)	27,509,842

II. 支出の部

科 目	金 額 (円)
事業費	11,825,000
管理費	1,962,000
減価償却費	898,735
予備費	12,824,107
当期支出合計 (C)	27,509,842
当期収支差額 (A)-(C)	0
次期繰越収支差額 (B)-(C)	0

2. 平成19年度 収支予算書

自 平成19年4月 1日

至 平成20年3月31日

社団法人 鹿児島県放射線技師会

I. 収入の部

単位(円)

勘定科目	予算額	前年度予算額	増減	備考
会費入金収入	50,000	50,000	0	
日本放射線技師会入金収入	50,000	50,000	0	日本放射線技師会 10名の入会
会費収入	3,582,000	3,589,000	△ 7,000	
正会員会費	3,262,000	3,269,000	△ 7,000	7,000×446名+新入会20名
準会員会費	320,000	320,000	0	20,000×6社+200,000×1社
事業収入	1,880,000	1,690,000	190,000	
研修会会費収入	600,000	550,000	50,000	ADセミナー2科目開催予定
広告収入	480,000	840,000	△ 360,000	30,000×16社
環境測定事業収入	300,000	300,000	0	
技師会創立60周年事業収入	500,000	0	500,000	本年度限定事業(10,000×50)
補助金収入	450,000	400,000	50,000	
本部負担旅費	450,000	400,000	50,000	全国・九州会長会議
負担金収入	7,515,000	7,530,500	△ 15,500	
日本放射線技師会費	6,890,000	6,905,000	△ 15,000	15,000×446名+新入会10名+特典10名
九州学術大会負担金	233,000	233,500	△ 500	
全国総合学術大会会費	100,000	100,000	0	
市医師会負担金	292,000	292,000	0	800円×365日 通信・研修等
雑収入	310,000	310,000	0	
受取利息	10,000	10,000	0	
雑収入	300,000	300,000	0	
前年度繰入金	12,824,107	11,724,294	1,099,813	
減価償却費	898,735	814,105	84,630	
建物減価償却費	407,880	407,880	0	
備品減価償却費	490,855	406,225	84,630	
当期収入合計 (A)	27,509,842	26,107,899	1,401,943	
前期繰越収支差額	0	0	0	
収入合計 (B)	27,509,842	26,107,899	1,401,943	

Ⅱ. 支出の部

単位(円)

勘定科目	予算額	前年度予算額	増減	備考
1. 事業費	11,825,000	11,469,500	355,500	
事業対策費	670,000	635,000	35,000	
広報活動費	20,000	25,000	△ 5,000	
調査事業費	200,000	50,000	150,000	全国放射線技師総合学術大会調査費
講習会対策費	120,000	120,000	0	講習会・研修会等の調査・対策
渉外対策費	10,000	10,000	0	
表彰対策費	50,000	40,000	10,000	
旅費交通費	120,000	140,000	△ 20,000	支部研修会
出版物頒布費	150,000	250,000	△ 100,000	会報・ニュース等の頒布費
学術研究事業費	1,142,000	1,072,000	70,000	
鹿児島県学術大会費	120,000	100,000	20,000	
生涯教育セミナー費	700,000	650,000	50,000	フレッシュャーズ・ADセミナー2科目開催予定
学術助成金	60,000	60,000	0	消化管・DR・乳房研究会
管理士部会費	90,000	90,000	0	線管理・機器・医用画像管理士部会費
夜間急病センター研修委託費	172,000	172,000	0	夜間急病センター派遣員研修委託費
支部助成金	420,000	420,000	0	
鹿児島支部助成金	150,000	150,000	0	支部研修会助成金
川薩支部助成金	50,000	50,000	0	支部研修会助成金
大隅支部助成金	50,000	50,000	0	支部研修会助成金
大島支部助成金	50,000	50,000	0	支部研修会助成金
霧島始良支部助成金	50,000	50,000	0	支部研修会助成金
南薩支部助成金	70,000	70,000	0	支部研修会助成金
出版事業費	480,000	840,000	△ 360,000	
会報印刷費	330,000	640,000	△ 310,000	
小冊子印刷費	70,000	100,000	△ 30,000	
ニュース印刷費	80,000	100,000	△ 20,000	
福利厚生費	140,000	140,000	0	
慶弔費	40,000	40,000	0	
レクレーション費	100,000	100,000	0	
放射線啓発事業費	950,000	800,000	150,000	
環境測定事業費	200,000	200,000	0	
ホームページ運営費	50,000	50,000	0	
放射線展費	50,000	50,000	0	
関連団体会議費	600,000	450,000	150,000	市民健康まつり等
放射線管理士事業費	50,000	50,000	0	放射線啓発事業
本部会費負担金	7,273,000	7,288,500	△ 15,500	
日本放射線技師会費	6,940,000	6,955,000	△ 15,000	
九州学術大会負担金	233,000	233,500	△ 500	
全国総合学術大会会費	100,000	100,000	0	
技師会創立60周年事業	450,000	75,000	375,000	
記念事業費	250,000	0	250,000	本年度限定事業
記念誌発行費	200,000	0	200,000	本年度限定事業
通信運搬費	70,000	75,000	△ 5,000	
通信運搬費	70,000	75,000	△ 5,000	
その他必要経費	230,000	199,000	31,000	
保険料	10,000	10,000	0	
租税公課	120,000	50,000	70,000	
雑費	100,000	139,000	△ 39,000	

勘定科目	予算額	前年度予算額	増減	備考
2. 管理費	1,962,000	2,100,000	△ 138,000	
会議費	330,000	350,000	△ 20,000	
総会費	200,000	210,000	△ 10,000	
理事会費	20,000	20,000	0	
委員会費	60,000	60,000	0	
支部長会費	40,000	50,000	△ 10,000	
部会会議費	10,000	10,000	0	
旅費交通費	760,000	780,000	△ 20,000	
会長会議旅費	450,000	450,000	0	
理事会旅費	40,000	40,000	0	
委員会旅費	140,000	150,000	△ 10,000	
支部長会議旅費	110,000	120,000	△ 10,000	
部会会議旅費	20,000	20,000	0	
需要費	460,000	460,000	0	
什器・備品費	100,000	100,000	0	
備品管理費	50,000	100,000	△ 50,000	備品の修理・管理等
消耗品費	50,000	30,000	20,000	
印刷製本費	30,000	50,000	△ 20,000	
通信運搬費	50,000	50,000	0	
夜間急病センター通信費	120,000	120,000	0	
部会通信費	10,000	10,000	0	
記念事業経費	50,000	0	50,000	本年度限定事業
渉外費	50,000	50,000	0	
役員渉外費	50,000	50,000	0	
賃貸費	70,000	100,000	△ 30,000	
賃貸費	70,000	100,000	△ 30,000	リース契約等
事務所運営費	194,000	234,000	△ 40,000	
維持管理費	100,000	140,000	△ 40,000	
雑費	20,000	20,000	0	
保険料	74,000	74,000	0	
租税公課	53,000	56,000	△ 3,000	
固定資産税	53,000	56,000	△ 3,000	
雑費	45,000	70,000	△ 25,000	
雑費	45,000	70,000	△ 25,000	
3. 減価償却引当預金支出	898,735	814,105	84,630	
建物減価償却費	407,880	407,880	0	
什器・備品減価償却費	490,855	406,225	84,630	
4. 予備費	12,824,107	11,724,294	1,099,813	
予備費	12,824,107	11,724,294	1,099,813	
当期支出合計 (C)	27,509,842	26,107,899	1,401,943	
当期収支差額(A-C)	0	0	0	
次期繰越金収支差額(B-C)	0	0	0	

平成19年度 第1回理事会議事録

平成19年4月2日(月) 18:00～
(社)鹿児島県放射線技師会事務所

出席者

監事 鯨嶋宗俊 西本広男
理事 西本孝市 池田睦 大久保光男 小林保浩 新村栄治 石本裕二
西元辰也 富松正明 永田隆二

議事録署名人

西本孝市 永田隆二

議題

1) 理事の役職について

会長は前会長、鯨嶋宗俊氏の推薦により西本孝市氏に決定。
西本孝市新会長より挨拶の後、
新会長提案の役職(案)のとおり各役職は以下のように決定。

会長	西本 孝市	
副会長	池田 睦	
監事	鯨嶋 宗俊	
監事	西元 広男	
総務担当	原口 誠	(HP 作成委員)
総務担当	永田 隆二	
財務担当	西元 辰也	
学術担当	小林 保浩	
学術担当	新村 栄次	
学術担当	石本 裕二	
広報編集担当	富松 正明	
福利厚生担当	大久保 光男	

2) 次回の理事会の日程について

4月末 チャリティーウォーク
5月26日 日本放射線技師会総会
6月中 県放射線技師会総会
6月中 フレッシュャーズセミナー
等、決定しなければならない事項があるため、
4月11日(水)を第2回理事会に決定。

3) 鹿児島県放射線技師会決算総会の日程について

黎明館において

6月16日(土) 13:00より準備、
14:00より総会で決定。

あわせて市民公開講座を行う。

講師は相良病院の小川先生に仏教の話を依頼する予定。

総会運営委員を各支部から出してもらっては?という案も出た。

4) ニュースの発行について

ゴールデンウィーク明けに発行。

総会、フレッシュャーズセミナーの案内等掲載予定。

各担当は4月28日締め切りで原稿を用意すること。

5) フレッシュャーズセミナーについて

接遇、一般撮影、CT、MRIの内容で、

6月24日(日) 9:00より厚生連にて開催決定。

講師は、

接遇は以前お願いしたことのあるプラスピュアの野口順子さんに依頼予定。

その他に関しては学術の方に人選を依頼。

6) 今年度のADセミナーについて

6月・7月の平成19年度九州統一ADセミナーのDVDを使用した、メディア講習を予定しているため年度の後半に行う。

7) その他

教育委員(現在3名)を増やす検討をして欲しい。(小林氏)

2年後の全国学術大会の準備として学術大会の財政状況を財務担当に

経験県(長崎・鳥取)より調査してもらう。

議事録作成	総務担当	永田隆二
議事録署名人	会長	西本孝市
	総務担当	永田隆二

平成19年度 第2回理事会議事録

平成19年4月11日(水) 18:00～
(社)鹿児島県放射線技師会事務所

出席者

監事 鮫嶋宗俊 西本広男
理事 西本孝市 池田睦 大久保光男 小林保浩 新村栄治 石本裕二
西元辰也 富松正明 永田隆二

議事録署名人

西本孝市 永田隆二

議題

8) 日放技創立60周年記念式典(5月25日)および日放技総会(5月26日)の出席者について

会長 西本孝市氏
副会長 池田睦氏
総務担当 永田隆二 の3名が出席。

9) 全国放射線技師会学術大会(6月7日～10日・石川県)の出席者について

視察として県技師会より3名出席してもらう。

県技師会からは、

会長 西本孝市氏
副会長 池田睦氏

学術担当 小林保浩氏 の3名が出席するが、各職場より出張旅費にて行ける方はそちらを優先してもらう。その場合以下、

学術担当 新村栄治氏、学術担当 石本裕二氏の順で県技師会より出席。

2年後の鹿児島の全国放射線技師会学術大会については事務所を鹿児島大学病院内に立ち上げていただき準備を進める。

学会会場は、宝山ホール、県民交流センターを仮押さえしている状況である。

懇親会会場等、検討を進める。

10) 第81回(社)鹿児島県放射線技師会通常総会について

前回の理事会にて6月16日(土)の決定であったが、会場である黎明館が借りれなかった為6月23日(土)に日程変更。

14:00より 市民公開講座

15:30より 総会

17:30より 河野正人氏の厚生労働大臣表彰の祝賀会

吹上荘または中原別荘で会場を押さえる。

1 1) フレッシュャーズセミナーについて

接遇、一般撮影（超音波含む）、CT、MRI の内容で、

6月24日（日） 9:00より厚生連にて開催決定。

講師は、

接遇は以前お願いしたことのある（株）プラスピュアの野口順子さんに決定。

その他に関しては学術の方に人選を依頼（シニア格以上で）。

学術担当の方で開催1ヵ月前までにイベント申請を行う。

プログラムは出来次第ホームページに掲載。

1 2) 教育委員の選出について

現在 隈 浩司氏（前総務担当）

小林保浩氏（学術担当）

新村栄治氏（学術担当） の3名

地方でADセミナー等開催する際には教育委員の立会いが必要であるため

3名では足りない。もう1～2名増員したい。

教育委員の更新が1年である事等を考慮し、検討を進める。

1 3) 次回の理事会の日程について

6月13日（水）に決定。

1 4) その他

（社）鹿児島県放射線技師会創立60周年記念式典を11月に行う。

議事録作成	総務担当	永田隆二
議事録署名人	会 長	西本孝市
	総務担当	永田隆二

平成19年度 第3回理事会議事録

平成19年6月13日(水) 18:00～
(社)鹿児島県放射線技師会事務所

出席者

監事 鯨嶋宗俊

理事 西本孝市 池田 睦 大久保光男 小林保浩 新村栄治 石本裕二
西元辰也 富松正明 原口 誠 永田隆二

議事録署名人

西本孝市 永田隆二

<報告事項>

1. 日本放射線技師会総会・60周年記念式典

厚生労働大臣表彰者発表：記念式典

定款改正：委任状多数により審議なしで改正された
強硬な裁定の感じがした
細則に関しては何も触れなかった

参議院選挙の件：かなりの時間を費やし協力を呼びかけていた

免許更新制度については平成19年度中に政府が何らかの方向性を決定する
現在のところ放射線技師会と看護協会だけがGOサインを出している
医師会は反対

2. 全国放射線技師学術大会(金沢)

会長・副会長・小林理事参加

* 一般演題が少なかった

* 事前登録1200名・当日100名

* 会場1～6あったが使われていないものもあった

* 機器展示1社50万の負担で訪問者が少なかった

* 会場：1500～108まであったが参加者が少なかった

* 開会式の会場は2000名収容の会場が必要というが、参加者が一番少なかった

* 情報交歓会(懇親会)セレモニーが1時間以上あった

* 熊谷会長は病気のため欠席

* 収支に関しては

北海道(次期開催)の準備状況

早めの準備

事務所の設立、準備・実行委員会の立ち上げ。

テーマ：国民から見える職業

サブテーマを考える（次回の理事会までに）

3. 参議院選挙の取り組み

4. その他

特になし

<議題>

1. 第81回（社）鹿児島県放射線技師会通常総会

平成19年6月23日（土）午後3:30～4:30

場 所 : 黎明館

内容 : 決算総会・各理事の会務報告

司会進行 : 鹿児島市立病院、今田万里代さん

議長 : 北薩病院下吉則孝さん、

副議長 : 鹿児島支部から選出、脇田慎一さん（今村病院）

理事は、13時集合

総会委員に関しては今回理事で行ってみて検討してはどうか？

理事は議事中会場に詰めているので必要では？

支部が組織としてしっかりしてきたので各支部から出してもらう方向で検討

2. 市民公開講座

平成19年6月23日（土）午後2:00～

場 所 : 黎明館

講演者 : 小川 臣人 様

内容 : 初期仏教における安らぎについて

座長 : 西本会長

マスコミ依頼について

総務のほうで報道機関等に依頼する

3. 河野正人氏 厚生労働大臣表彰祝賀会

日時：平成19年6月23日（土）17時30分より

場所：アクアガーデンホテル福丸

参加予定人数：42名

その他：送迎バスを出してもらう

役割分担、案内状発送

会場：鹿児島アリーナ

特別講演会：市職員の動員があったので中止

7月4日 第2回実行委員会開催

内容変更必要でしょうか？

参加者が少ないので取りやめの話があったが

次回理事会で検討

6. (社)鹿児島県放射線技師会60周年記念式典について

日時：11月10日(土)を基本に調整(レントゲン週間と重なるが?)

県知事・市長に出席依頼

記念講演について：*前回50周年記念の際は税所先生だった

*県医師会の記念式典の際は米盛会長の講演創立以来の足跡から現在の医療についてであった。

*日放技の記念式典はリスクマネジメントの話であった

表彰・功労賞など

次回の理事会で決定したい。

レントゲン週間に関して

*レントゲン週間をピンクリボン(10月21日)とジョイントでお願いできないでしょうか?との依頼あり(レントゲン週間とかけ離れているが?)

ピンクリボンとの共催に関しては主催でなければ認められない。また11月8日を含む週の週末であるため、できない。後援でお願いします。

11月10日(土)レントゲン週間

11月17日(土)記念式典

の予定であったが、同日開催に関して議論の結果

11月10日同日開催で決定

場所に関しては市街地のホテル

7. その他

特になし

議事録作成	総務担当	永田隆二
議事録署名人	会長	西本孝市
	総務担当	永田隆二

平成19年度 第4回理事会議事録

平成19年8月8日(水) 18:00～
 (社)鹿児島県放射線技師会事務所

出席者

監事 鮫嶋宗俊

理事 西本孝市 池田 睦 大久保光男 新村栄治 石本裕二
 西元辰也 富松正明 原口 誠 永田隆二

議事録署名人

西本孝市 永田隆二

<報告事項>

1. 第24回市民健康祭りについて

- ① 開催日 : 平成19年11月4日(日) 10:00 ~ 15:30
- ② 設営 : 平成19年11月3日(土)
- ③ メインテーマ : みんなで楽しく55(ゴーゴー)プラン
- ④ サブテーマ : 予防と対策「メタボリックシンドローム」

第25回(来年度)は、ねんりんピックが開催されるので、特別講演のみ開催

2. 健康ハート展について

- ① 開催日 : 平成19年8月12日(日) 10:00 ~ 17:00
- ② ヘルシーディナーの夕べ : 平成19年8月10日(金) 18:00 ~
 ベイサイドガーデン
- ③ 技師会の担当 : 骨密度測定

GE	2台	
アロカ	1台	貸し出し協力頂きます
スタッフ	大学病院	: 3名
	今給黎	: 2名
	南風	: 2名
	厚生連	: 3名
	市立病院	: 4名
	医師会	: 1名
	川内市民	: 1名
GE	:	2名

合計18名協力

- ④ 展示担当 : 技師会・禁煙医師連盟・ピンクリボン鹿児島
 内容 最新医療パネル

乳がんの予防・早期発見の啓発
腹部CTでの内臓脂肪肥満の診断

3. 公益法人化のアンケート

公益法人化への意思がある旨で返答した

4. その他

特になし

<議題>

1. 南薩支部研修会の参加者について

① 開催日：平成19年9月8日（土） 15:00 ~ 18:00

② 場 所：馬場病院（吹上町）

西本会長・大久保理事に出席してもらう

2. レントゲン週間イベントについて

③ 開催日：平成19年11月10日（土）または11月17日（土）

会場の確保ができておらず、日程は両日のどちらかで会場し
いで決定する

④ 内 容：乳がん検診・骨密度測定・展示

市民公開講座（生涯教育講座の位置づけ）も予定しているが、
会場によっては他のイベントに組み込む可能性もある

⑤ 会 場：未定

山形屋文化ホール 2月末まで予約の空きがない

社交室はどうか？

その他、人の集まりが良さそうな場所を中心に会場確保を急ぐように

3. (社)鹿児島県放射線技師会 創立60周年式典について

① 開催日：平成19年11月10日（土）または11月17日（土）

レントゲン週間イベントと同日開催予定であり、レントゲン週
間の開催日決定まで保留

② 会 場：未定

* 開催日が決定しだい会場を予約する

* 出席者は70~80名程度を予想

* 会場は市街地中心部に近いホテルから選ぶ

* 関連団体にも案内を送付

③ 内 容：* 式典において特別講演を行う

講演の内容は、技師会60周年の足跡について

* 歴代会長の表彰

50周年式典で表彰を行っているので、それ以降の会長が対象

* 記念誌の発行

④ その他：記念式典、収入の件

収入の見込み50万円を予定しているがどうするか？

祝賀会の参加費をいくりにするか？

4. 106号発行について

9月末の発行を予定

内容は①理事・就任挨拶

②学術・フレッシュャーズセミナーの報告

③財務・会費請求

原稿締め切り

9月10日までに広報担当・富松理事へ

会報表紙のカラー・デザインを会長交代の都度変更しているので今回も検討する

5. リーダー研修会について

日時：平成19年9月29日(土) 15:00 ~ 17:00

支部長会議 13:30 ~ 15:00

研修会 15:00 ~ 17:00

懇親会 18:00 ~

場所：市立病院 視聴覚室

研修会の内容

① 人事管理等に関する内容

② 病院評価機構等に関する内容

案内・会報に載せる

各支部長・主要施設の施設長にも送る

6. その他

始良支部の平賀支部長より

超音波実技研修会のお知らせをHPに掲載してほしい、との申し出があった

議事録作成	総務担当	永田隆二
議事録署名人	会長	西本孝市
	総務担当	永田隆二

(社) 鹿児島県放射線技師会 市民公開講座開催される

下記の内容にて市民公開講座が開催されました。講師は当会会員で、仏教大学を卒業された小川臣人先生でした。

記

鹿児島県放射線技師会・市民公開講座

日 時：平成19年6月23日（土）
午後2時～3時30分

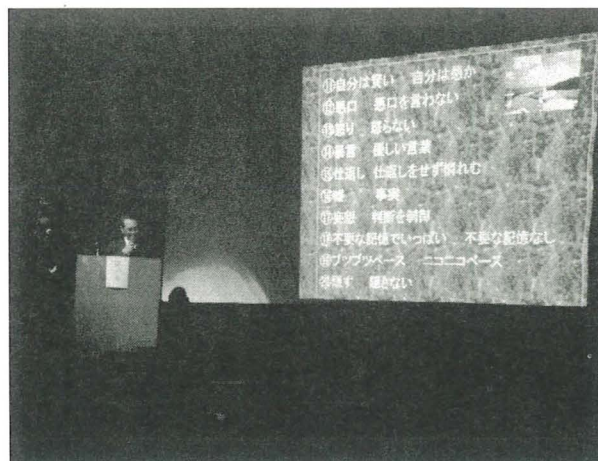
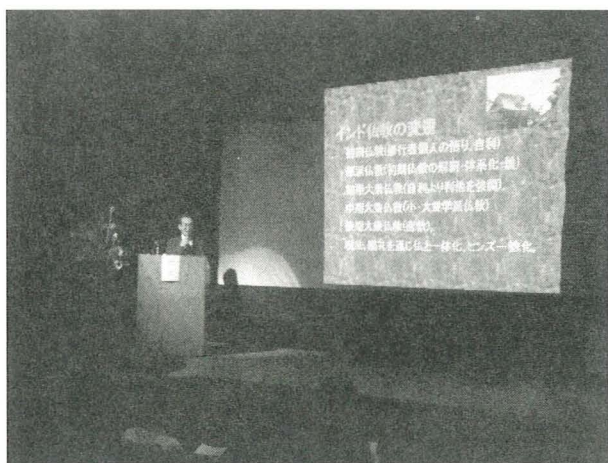
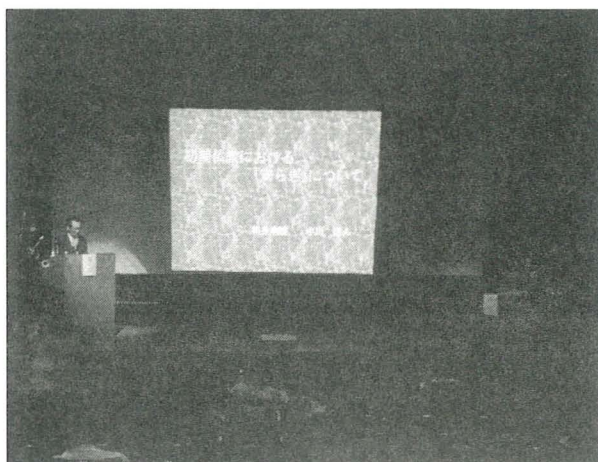
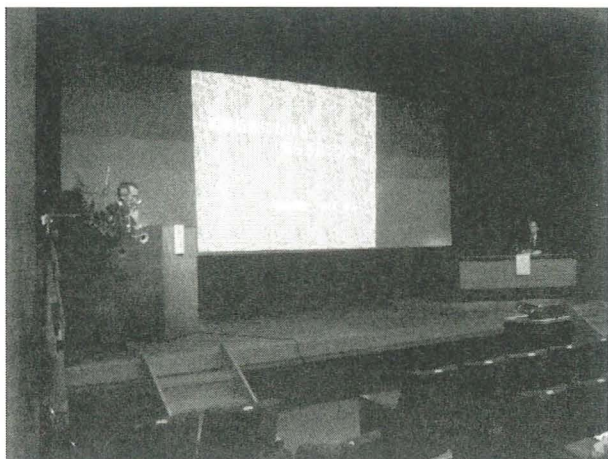
会 場：鹿児島県歴史資料館 黎明館 2階 講堂
鹿児島市城山町7番2号
TEL 099 - 222 - 5100

内 容：「初期仏教における安らぎについて」
講演者・・・小川 臣人 氏
さがらパース通りクリニック

以上



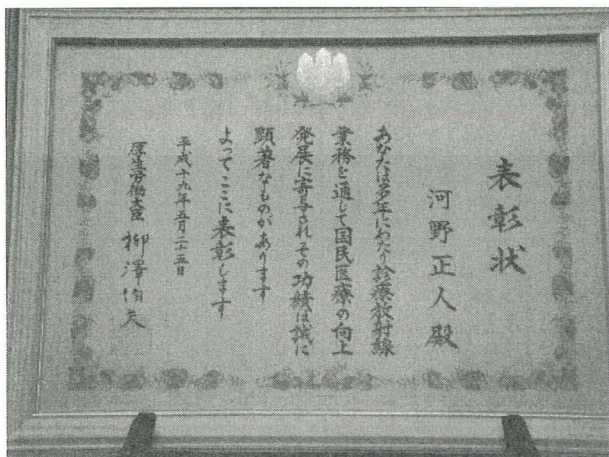
市民公開講座



河野正人氏 厚生労働大臣賞表彰記念祝賀会開催される

日時：平成19年6月23日（土）17:30～

会場：アクアガーデンホテル福丸



健康ハート展に参加して

今給黎総合病院

中央放射線部 小屋 俊 彰

私は、今回初めて健康ハート展に参加させて頂きましたが、午前10時からの開始と同時に多くの方がいらっしゃって、健康に興味をもっている方が非常に多いということに驚きました。

今回のハート展の催し物は、医師相談・栄養指導・血圧測定・血管年齢測定・体脂肪測定・心電図測定・喫煙相談・乳癌検診相談などがあり、放射線技師会では、骨密度測定（GE・アロカ）、メタボリックシンドロームや乳癌検診に関する展示、各検査における最新画像の症例展示を行いました。

骨密度測定においては、年配の方を中心に子供から大人まで約300人の方の誘導・検査及び結果説明を行いました。検査や結果説明を行う上で、検査の簡便さに驚かれる方や、結果に喜ばれる方、落胆される方など反応も様々でした。

また、その他の展示に関しても来場された方々の関心は高く、健康ハート展にいらっしゃった方々が健康だけでなく医療に対しても非常に深い関心を持っていらっしゃると感じました。

このように、健康ハート展などの催し物で一般の方々に健康や医療に少しでも興味を持って頂くことは、とても重要なことであると思います。

今回、健康ハート展に参加させて頂いたことで、一人の医療人として、一般の方々の健康や医療に関する様々な疑問に対して、しっかりとした返答ができるようになっていかなければならないと改めて実感しました。この経験を是非これからの業務や、医療人としてのあり方に生かしていきたいと思います。

鹿児島市医師会夜間急病センターを勤務して

(社)鹿児島共済会 南風病院放射線部 淵 脇 崇 史

鹿児島市医師会夜間急病センターが平成18年4月に開院しました。それにあたり、現在19名の県技師会の会員が、各施設の業務終了後、平日は19時～翌7時まで、日曜・祝日は18時から翌7時まで、月に1～2回のX線撮影の業務を行っています。

夜間急病センター内には、常駐で外科・内科・小児科・産婦人科、オンコールで眼科・耳鼻咽喉科の診療科があり、各科の医師が必要に応じてオーダーを行います。それに従って技師は、外来患者の一般撮影を行っています。主に、外科、内科、小児科の撮影オーダーが多く、外科のオーダーでは、整形分野も含まれて撮影を行っています。

一日の撮影件数は平均で約4～5名の依頼があります。主に整形外科分野の撮影が多く、次に胸部や腹部などの撮影が行われています。

当院（南風病院）と比べ、撮影装置や撮影室内の配置、撮影補助具等が異なり、多少不慣れな点がありますが、撮影に関しては、特別難しい撮影などはなく、業務は順調に行われていると思われまます。また、当院では小児科・産婦人科・耳鼻科・眼科が無い為、急病センターでは、どのような撮影の依頼があるのか？また、どのような画像が必要とされるのか？と、特に小児科の撮影は、当初不安でありましたが、業務を重ねるにつれて不安も除かれていき、今では問題なく業務が行われています。

月に1～2回の勤務で、スタッフとの連携も取りづらくなかでの業務ですが、技師として必要とされる情報を十分に提供し、患者様の信頼や期待に応えられるように、急病センターの業務に携わっていきたいと思います。

春季学術大会

日時 平成19年3月11日(土)

会場 鹿児島県歴史資料館黎明館2F講堂

- 9:50~ 会長挨拶
- 10:00~11:00 会員発表(1) 座長 馬場 なつき (今給黎病院)
- 「RISの使用経験について」
南風病院 白石 朋之
- 「超音波検査時寝台の一工夫」
ヲサメ内科クリニック 下園 大介
- 「線量低減によるFNC処理の有用性」
鹿児島大学病院 奥 好史
- 「マンモ施設認定取得への取り組み」
鹿児島大学病院 清水 ゆかり
- 「当院の乳癌検診の現状」
霧島市医師会医療センター 塩屋 晋吾
- 11:00~12:00 総会
- 13:00~14:00 特別講演
「九州地域放射線技師会の活性化に向けて」
・韓国・台湾・シンガポール学術大会,ACRT報告・
九州地域放射線技師会会長 阿部 一之先生
- 14:10~14:30 会員発表(2) 座長 隈元 満広 (鹿児島生協病院)
- 「64列MDCTにおける側頭骨撮影の評価」
今給黎病院 小屋 俊彰
- 「腹部Dynamic Studyにおける造影剤使用量の検討」
今給黎病院 稲留 久恵
- 14:30~16:10 シンポジウム 「最新医療技術」
座長 瀬戸 和人 (鹿児島市立病院)
- 「CT」 坂口 右己 (霧島市医師会医療センター)
- 「MRI」 丸尾 美由紀 (今給黎病院)
- 「PET」 吉野 健 (南風病院)
- 「治療」 豊田 雅彦 (鹿児島大学病院)

Radiology Information System (RIS) の使用経験について

～一般撮影での RIS 使用経験～

(社)鹿児島共済会 南風病院 白石 朋之

1. はじめに

当院では昨年11月に画像診断センター新設に伴い放射線部内のシステムのスムーズな連携を図るため、放射線部門情報システム（以下 RIS）を導入した。業務の簡略化や、ヒューマンエラーの低減を目的とし、構築をおこなったので、使用経験を報告する。

2. 使用システム

- | | | |
|-------------|--------------|-----------------------|
| ● RIS | コニカミノルタメディカル | 【S-RIS】 |
| ● Ordering | トヨタ車体研究所製 | |
| ● PACS | GE横河メディカル | 【Centricity PACS】 |
| ● Reporting | GE横河メディカル | 【Advantage Reporting】 |

3. 構築理念

- ペーパーレス化の導入
- ヒューマンエラーの低減
- 業務の簡略化
- 他システムとのスムーズな連携

4. 理念に基づいての実施項目

- MWM 通信による患者情報の送信・カルテ番号のバーコード化
→バーコード読み取りでの患者選択の実施
- CR システムと RIS システムを1つの PC にて画面切り替えで使用（ビルトイン連携）
- 各種ラベルの使用（フィルム袋の名前ラベル・カルテ添付用実績ラベル）
- ポータブル撮影において、カセットバーコードと携帯情報端末（PDA）の使用
→撮影時にカセットバーコードを読み取り、患者情報・撮影情報を端末に記憶させる
- 検査履歴参照・統計処理機能
→検査履歴から画像参照・レポート参照を行える

5. 結果

- バーコード読み取りや、MWM 通信を活用し、手入力を減らすことによってヒューマンエラーは低減した
- ビルトイン連携によって、患者選択から実績までを1つの PC で行えるので、場所も取らず、実績漏れがなくなった
- 各種ラベル使用で、間違いもなくなり、時間の削減に繋がった
- PDA の使用により、二重曝射が防げるようになった
- 各種参照に機能により、フォローアップ検査の効率がよくなった

6. 結論

今回導入された、PACS・Reporting、また、既存のオーダーリングシステム・医事システムとの連携を行うにあたり、RIS は中心的な役割を果たし、スムーズな連携が実現した。ネットワーク構築時、RIS は必須だと思われる。

超音波検査時 寝台の一工夫

ヲサメ内科クリニック 下園 大介

鹿児島通信病院 新留 寿 前田 圭介

鹿児島画像技術研究会

【はじめに】

超音波検査が普及し、様々な検査時の小工夫が今日でも行われている。

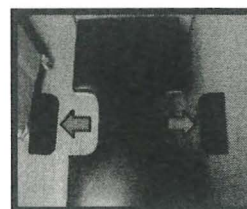
【目的】

当院では、健診時の腹部エコー検査を以前より、仰臥位、左右側臥位を駆使して行っていた。側臥位の利点に、仰臥位だけでは観察不十分となる腎、脾の描出能の向上があるが、体位変換をすることにより、時間がかかってしまうことがある。

そこで、当院で製作した寝台を用いて検査時の時間短縮を試みる。

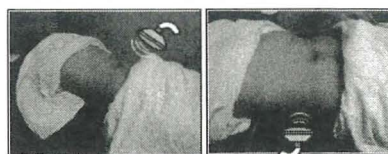
【方法】

寝台の一部（一般男性が仰臥位になった時のおおよその腎レベル）をくりぬき（fig 1）、仰臥位でも背側に近い肋間走査が可能となる寝台を製作した（fig 2）。



(fig 1)

検査風景



(fig 2)

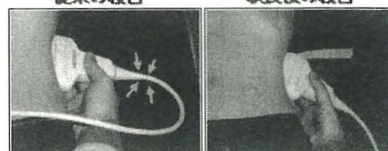
【結果】

従来の寝台の仰臥位走査では十分に観察できなかった左右の腎が、改良寝台を用いることにより、肋骨が邪魔になったり、探触面が浮いたりなどの問題点が少なくなった。

これにより描出能も向上し、仰臥位のみですべてのスクリーニング検査が行えるようになった。

また、従来の寝台では、プローブ故障の原因の一つでもある断線に大きく影響があり、寝台と接触していたケーブルが改良後の寝台では接触がなくなり（fig 3）、接合ブーツの負担もなくなった。

プローブへの負担



(fig 3)

【まとめ】

改良寝台を用いることにより、通常ルーチン検査における時間短縮を得ることができる。

また、プローブ断線の故障につながる接合ブーツへの負担軽減にもなると考えられた。

【最後に】

今回の発表にあたり、ご協力いただいた鹿児島画像技術研究会の皆様に深く感謝致します。

線量低減による FNC 処理の有用性

鹿兒島大学病院 臨床技術部 放射線部門

○奥 好史 佐々木雅史 齋藤 朋典

川原 浩 福島 昇

[目的]

X線撮影では、線量が低下するにつれて、画像中のノイズ成分が増加して粒状の悪い画像になります。特に体厚が厚い部分ではそれが顕著に現れ、線量を増やすと被ばくが増え、管電圧を上げるとコントラストが低下する。

そこで、FNC を用いて、基礎検討を行った。今回は体厚が厚く線量が不足しやすい腰椎側面の条件でファントム実験を行い、その画質と線量について評価した。

[方法]

1) CNR, コントラスト分解の測定: 12 cm のアクリルの間にバーガーファントムを置き、当院の腰椎側面のデフォルト条件である 90 kV、500 mA、0.16 秒 (80 mA s) と 3/4 (63 mA s) と 1/2 (40 mA s) の 3 つの条件で撮影し、それぞれに FNC ON と OFF の処理を加え、計 6 つの試料を作成した。バーガーファントムの直径 8 mm 付近、深さ 1 ~ 7 mm の信号と周囲のバックグラウンドのデジタル値と S. D. を測定し、下記の式より CNR とコントラスト分解能を測定した。

2) WS の測定: 2.5 cm 厚のアクリルを撮影し、それぞれの条件 (実験 1.2 と同じ撮影条件) で撮影し、それぞれに FNC ON と OFF の処理を加え、計 6 つの試料を作成し、それぞれの試料についてデジタル値より、ウィナースペクトルを求めた。

3) ファントムによる視覚評価: 20 cm のアクリルにバーガーファントムを置いて撮影し、下記のそれぞれの試料 (先程の実験と同じ撮影条件) について、バーガーファントムの径の信号がどこまで見えるかを検討した。

[結果]

1) FNC を行なう事によって CNR の値が大きくなっており、線量を減らして FNC を行なっても微少な高周波信号のコントラストは保たれたままになっているとすることができる。

2) 線量を半分に下げて FNC を行なった時の粒状性は、もとの線量で FNC を行なわない時よりも良くなっている傾向になった。FNC を行なうことにより、粒状性が良くなっていると言っていることができる。

3) FNC を行うことにより、ノイズで見にくかった信号が見えやすくなる傾向にあった。

[結語]

腹部、骨盤領域の骨撮影において FNC 処理をすることにより、約 40% の線量低減が可能であることが示唆された。今後の課題として、検査目的に応じた撮影条件の検討を重ねたい。

マンモグラフィ施設認定取得への取り組み

鹿児島大学医学部・歯学部附属病院 臨床技術部 放射線部門
清水ゆかり・室屋 英人・藤坂 智史・川原 浩・福島 昇

【目的】

近年、乳がんはわが国でも女性のがん死亡率の上位に位置するようになり、早期発見手段としてマンモグラフィが主体として行われている。各施設が高精度のマンモグラフィを得るためには、撮影技術と精度管理が重要な課題となっている。今回、マンモグラフィ検診精度管理中央委員会の施設認定取得へ向けて日常管理に取り組み、画質を含めた問題点を改善したので報告する。

【検討項目】

施設認定申請の準備に際し、日常管理を含め4つの問題点があがった。

1. ベース濃度が3.6である。
2. 156ファントム視覚評価が基準に達していない。
3. 臨床画像の選別（高濃度の画像が少ない。）
4. 撮影情報、撮影条件の印字が不十分である。

【結果】

1. マンモグラフィは、ベース濃度4.0以上が必要であり、マンモグラフィ専用フィルムを使用することで改善できた。
2. 視覚評価は、AEC設定の補正や階調処理・周波数処理などのメーカー推奨のパラメータに設定し改善することができた。
3. ポジショニング技術の向上に力を入れた。マンモグラフィ講習会、研究会へ参加し、ファントムを用いてトレーニングをした。
4. メーカーに再設定してもらい、撮影情報、撮影条件すべて印字した。（撮影情報、撮影条件の印字は平成19年4月より必須。）

【まとめ】

認定施設取得に向けて品質管理を始めることにより問題点が分かり、画質の改善ができた。また技師の意識が変わり、ポジショニング技術が向上した。

今後の課題として、3年後の更新に向けて品質管理を徹底し、技師のレベルアップに取り組んでいきたい。

当施設における乳癌検診の現状 ～アンケート調査をもとに～

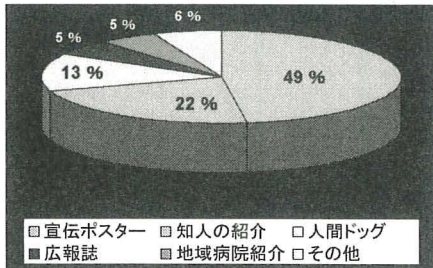
霧島市立医師会医療センター 放射線室 塩屋 晋 吾

【目的】 H18年3月、当施設に乳房撮影装置が導入され、4月から施設乳癌検診をスタートし1年が経過しようとしている。当施設では、当初からアンケート調査に協力して頂き、受診者のニーズを理解し、今後の技術・サービス面の向上を図ることに努めている。今回、それに基づきこれまでの取り組みを振り返り、今後の方向性について検討したので報告する。

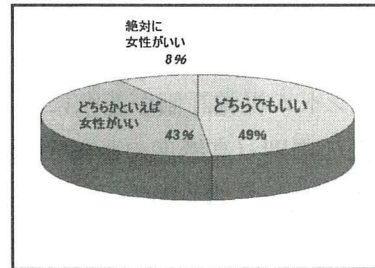
【対象】 H18.4月～H19.2月の検診受診者154名、アンケート回答者：138名、回収率：88.6%

【内容】 年齢・当施設の検診を知ったきっかけ・担当技師について・痛みの程度について、当施設で行っている受診者の苦痛や不快感を取り除くための取り組み（技師の手袋着用での撮影・装置の乳房が触れる部分を温める）の効果など計9項目

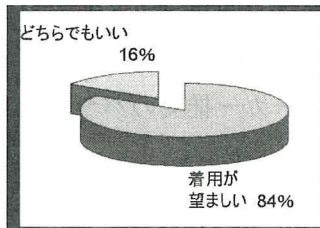
【結果】



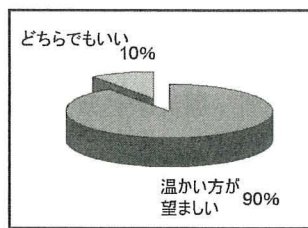
当施設の検診を知ったきっかけについて



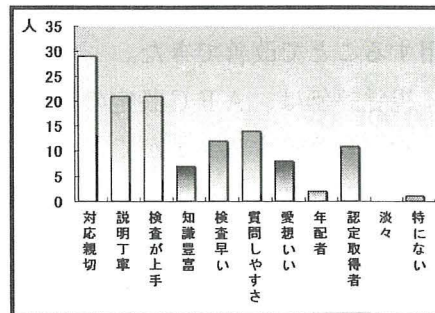
担当技師の性別について



技師の手袋着用について



装置の温め効果について



望ましい技師とは？

【考察】 ・ 『当施設での検診を知ったきっかけ』は宣伝ポスターの影響が最も多く、その後は次第に口づたいで広まっていくという傾向を得た。これは受診者を集めるために自ら啓蒙・宣伝活動した事が最初のきっかけとなり受診者への対応を継続してしっかり行えた事で地域住民へ口コミで評判よく浸透していったのではないかと考える。

・ 『受診者の望む技師』は“対応が親切な技師”が最も多く、逆に“知識が豊富な技師”、“認定技師”が予想以上に低い結果となった。このことで受診者は『高い知識』よりも『親切丁寧な対応』を望んでいることが分かり、受診者とのコミュニケーションの重要性を再認識でき、同時に認定制度の世間の認知度の低さも考えさせられた。

64 列 MDCT における側頭骨撮影の評価

今給黎総合病院 中央放射線部

○小屋 俊彰 新村 栄次 濱田 智太郎
 稲留 久恵 加治屋 博一 室屋 純一

1. 目的

当院では、CT における側頭骨撮影において、Matrix Size : 1024×1024, Filter : Bone (D) を用いているが、その有用性について検討する。

2. 使用装置

- ・ X 線 CT 装置 : Brilliance 64 (PHILIPS 社製 64 列 MDCT)
- ・ CT 評価ファントム (PHILIPS 社製)
- ・ ビーズファントム (自作)

3. 方法

Filter : Sharp(C)、Bone(D)のそれぞれにおいて Matrix Size を 512×512、768×768、1024×1024 と変化させながら空間分解能 (MTF) と雑音を測定することで、64 列 MDCT における側頭骨撮影の評価を行う。

- ・ XY 平面の空間分解能測定
 ⇒CT 評価ファントムのワイヤー部分をスキャンし、ワイヤー法による XY 平面 MTF 測定を行う。解析は PHILIPS の MTF 測定用ソフトとエクセルを用いて行う。
- ・ Z 軸方向の空間分解能測定
 ⇒ビーズ法による Z 軸方向 MTF の測定を行う。
 解析は SSP 解析プログラム (<http://www.owari.ne.jp/~kitikawa>) とエクセルを用いて行う。
- ・ 雑音の測定
 ⇒CT 評価ファントムの水ファントム部をスキャンし、5 点 ROI における SD (Standard Deviation)の測定を行い、加算平均する。

4. 結果

【XY 平面の空間分解能測定結果】

Filter においては Bone(D)、Matrix Size においては 1024×1024 が最も高い値を示した。

【Z 軸方向の空間分解能測定結果】

Filter 及び Matrix Size の変化による Z 軸方向の空間分解能の変化はなかった。

【雑音の測定結果】

Filter においては Bone(D)、Matrix Size においては 1024×1024 が最も高い値を示した。5. 考察
 耳小骨などの微小な骨構造を観察できなければならない CT における側頭骨撮影では、画像上互いに接近した 2 つの高コントラスト小物体がどの程度の大きさまで識別できるかを示す指標である空間分解能は高い方がよい。また、空間分解能に雑音はほとんど影響しない。そこで、50%MTF は鮮鋭度、10%MTF は解像力を示すと言われているので両方が高い値を示している Filter : Bone(D) 及び Matrix Size : 1024×1024 が有用であると考えられる。

そして、今後の課題として、CT における側頭骨撮影では特に水晶体の被曝を考慮する必要があるので、今回の結果を踏まえ、どこまで被曝を低減させることができるか検討していきたいと思う。

腹部 Dynamic Study における造影剤投与量の検討

財団法人昭和会 今給黎総合病院 中央放射線部

稲留 久恵 濱田 智太郎 新村 栄次 室屋 純一

はじめに

二台の MDCT の更新に伴い、撮像プロトコルと造影剤投与量の検討を現在行っている。今回は肝臓を中心にした Dynamic Study について報告する。

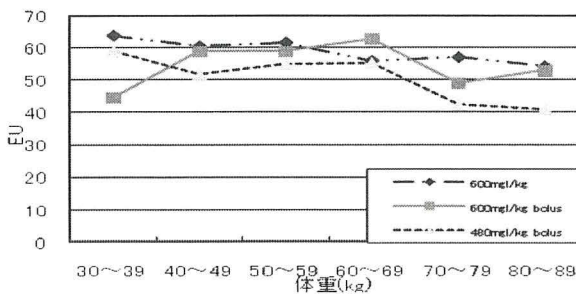
使用機器・撮像プロトコル・その他

使用機器：SOMATOM EMOTION 6(SIEMENS 社製)

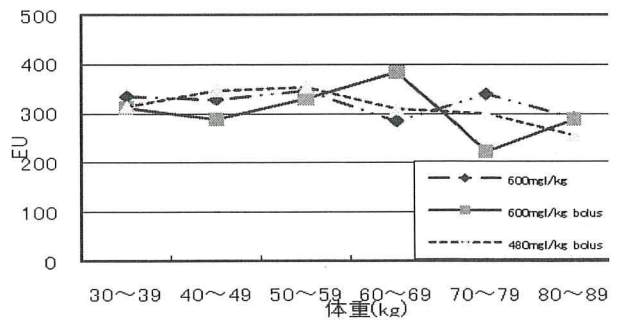
撮像プロトコル：胆肝セット(Plane, Late Arterial, Portal)：撮像タイミングを固定法(造影剤注入後 35 秒後,70 秒後)、ポーラストラッキング、造影剤注入量 (480mgI/kg,600mgI/kg)、肝セット(Plane, Late Arterial, Portal, Late)：撮像タイミングを固定法(造影剤注入後 35 秒後,70 秒後,180 秒後)、ポーラストラッキング、造影剤注入量 (480mgI/kg,600mgI/kg) 変更したものについて被験者の体重を基準に、各フェーズ別に HU 値、トラッキング到達時間等を測定した。データ処理には、表計算用ソフト エクセルを使用した。

結果

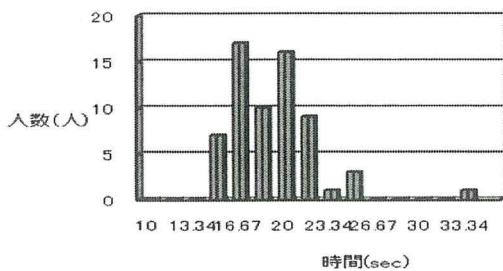
肝臓造影効果



腹部大動脈造影効果



ポーラストラッキング到達時間



		300mgI/ml 100ml	370mgI/ml 100ml Ns 30ml	300mgI/kg 150ml
600mgI/kg	理論値	~50kg	51~62kg	63~75kg
	実際	~59kg	60~79kg	80kg~
480mgI/kg	理論値	~63kg	64~79kg	80~94kg
	実際	~70kg	71~79kg	80kg~

考察

- 腹部大動脈、肝臓の造影効果のグラフより、体重あたりのヨード量が 600mgI/kg 時の体重 60kg～79kg は CT 値が急激に低下している。これは、造影剤の投与量が理想値を 100%とした時、最大で 78%まで投与量が不足している為だと考えられる
- 肝臓の造影効果のグラフより、体重あたりのヨード量が 480mgI/kg においても造影効果はあるといえる
- ボーラストラッキングのトリガー到達時間のグラフより、ヨード量を体重別である程度一定にしても、患者様の病状、拍出量等の心因子などの種々の要因により造影後の撮像開始時間は個人差がある為、ボーラストラッキングを使用して検査を実施したほうが再現性がよい

参考文献

- ・ CT 造影理論 市川智章 編
- ・ 肝・胆・膵疾患の MDCT の検査法—最近の考え方と推奨プロトコール 彌永由美 山下康行ら
- ・ 肝濃染強度とヨード量の関係—より適正な投与ヨード量の決定を考える 兼松雅之
- ・ 肝臓ダイナミック CT における最適なヨード量に関して 村上卓道 その他

最新医療機器について ～64列MDCT～

霧島市立医師会医療センター 坂口 右己

当院ではH19年1月18日よりGE社製Lightspeed VCTが稼働しています。シングルヘリカルから64列への移行になります。同時にワークステーション2台（GE社製 Advantage Workstation Ver.4.3）とインジェクター（根本杏林堂社製デュアルショット GX）を導入しました。

従来のSDCTと比較しての利点として

- ① 単位時間当たりの撮像範囲の広範化
- ② 時間分解能の向上
- ③ 体軸方向の空間分解能の向上
 - 薄いスライス厚の画像を高速に撮影可
- ④ 撮像後に任意の画像スライス厚の再構成が可能（Volume CT）
 - スクリーニングと精査が同時に行える
 - 被ばく線量の低減

等が挙げられます。中でも時間分解能の著しい向上により心臓が撮影できるようになりました。今回はその心臓のCTについて現況報告含めまとめさせて頂きました。

I. 〈心臓CTの原理〉

・心電同期撮影

○Prospective Gating 法・・・心電図のR波をトリガーとして、心電図上の決まったタイミングでハーフスキャンを行う

○Retrospective Gating 法・・・一定の時間ヘリカルスキャンを連続して行い、そのデータより必要な時間帯のデータを選び出して、画像再構成を行う

・マルチセクタリコン

心拍動の周期性を利用し、複数の心拍から同位相のデータを抽出しそのデータを組み合わせて1枚の画像を再構成する。心拍に合わせ1～4セグメントを選択

・画像再構成における心時相の決定

当装置では相対delay方式を用いており、R-R間隔のパーセンテージで再構成を行う

・被ばく低減対策

当装置ではECGmAモジュレーションという機能があり、必要な拡張期のみMAX線量を出し、他収縮期では低線量という設定にて被曝低減をはかる

II. 〈心臓CTの実際〉

・心臓CT検査手順

1. β ブロッカー投与（必要に応じて）
2. 更衣・金属類チェック

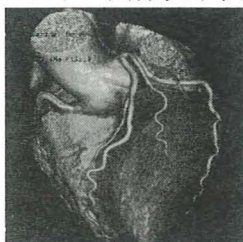
3. 検査説明
4. ECGモニタ装着
5. バイタルチェック（検査前）・ルート確保
6. 息とめ練習（心拍数チェック）
7. ニトロ投与（ミオコールスプレー）
8. 単純CT撮影（位置決め）・・・低線量
9. 造影剤テスト注入（10cc）+撮影

※本スキャンの造影タイミングを決めるためのものです。

10. 本スキャン（造影）
11. 抜針・バイタルチェック（検査後）・ECGモニタ除去

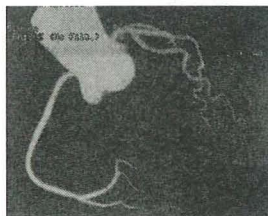
III. 〈撮影後の画像処理〉

・心臓 CT における画像表示法



〈Volume Rendering 像〉

冠動脈を全体的に把握



〈Angiographic view 像(MIP)〉

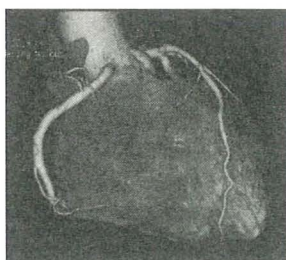
心カテと同方向で表示可能、病変部のあたりをつける



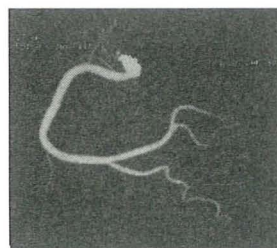
〈CPR 像 Lumen View 像〉

同平面で冠状動脈を連続的に評価
(血管内腔・プラーク・ステント内情報、狭窄範囲や形態等)

IV. 〈心臓 CT 画像〉

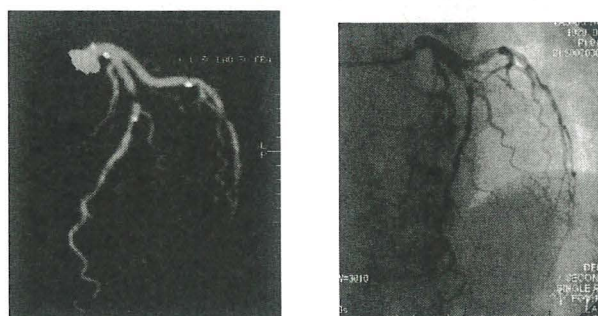
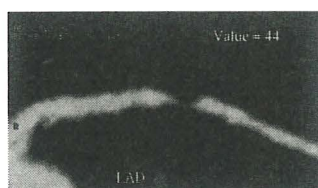
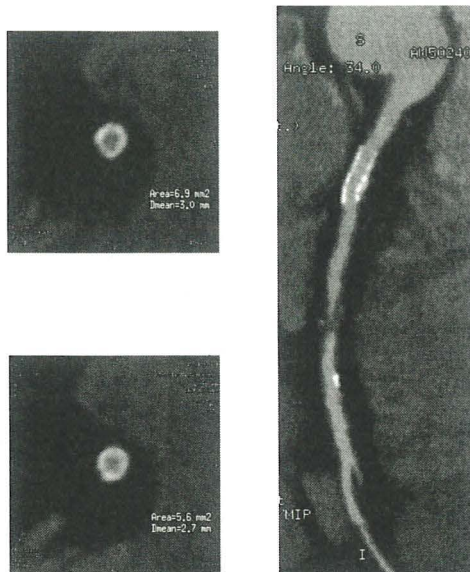


〈VR 像〉

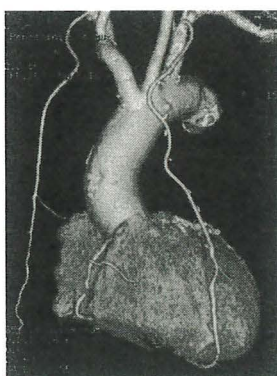


〈MIP 像〉

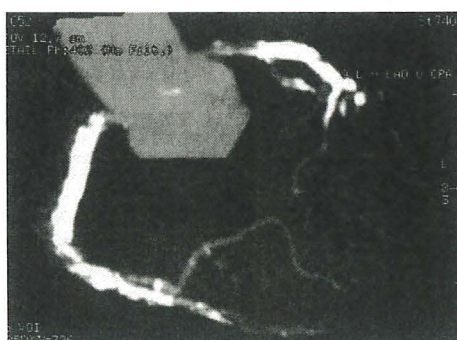
〈ステント症例〉



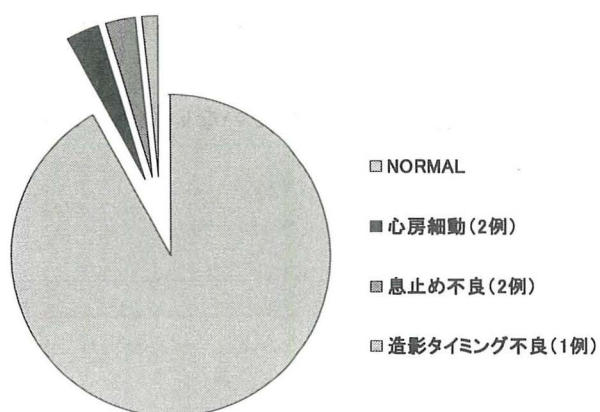
〈急性期症例〉



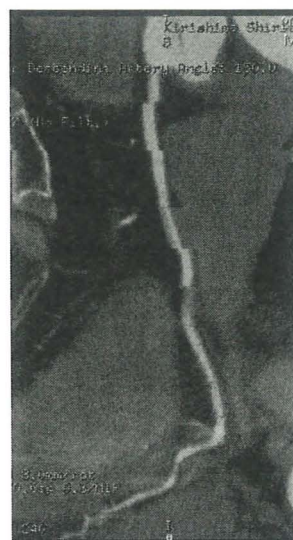
〈バイパス症例〉



〈重度石灰化症例〉



現在までの心臓 C T 65 症例の内訳



〈息とめ不良症例〉

IV. 〈今後の展望及び課題〉

- ・心臓 CT のさらなる被爆低減技術 (prospective gating 法) が期待される。
- ・多列化による面検出器、Dual Source CT によるさらなる時間分解能の向上、2 層検出器による Dual Energy、prospective gating による被爆低減とさらなる空間分解能の追求など各社開発されているが、到達点が興味深いところである。
- ・他モダリティとの比較や造影タイミング・造影剤量の検討など課題は多々あるが、MDCT の長所を十分に生かした検査を今後行っていきたい。

「拡散強調画像について」

今給黎総合病院 丸 尾 美由紀

「目的」

最新医療装置の MRI ということで、当院には 3T 装置が導入されていないため、最近、学会等で注目を浴びている拡散強調画像について述べる。

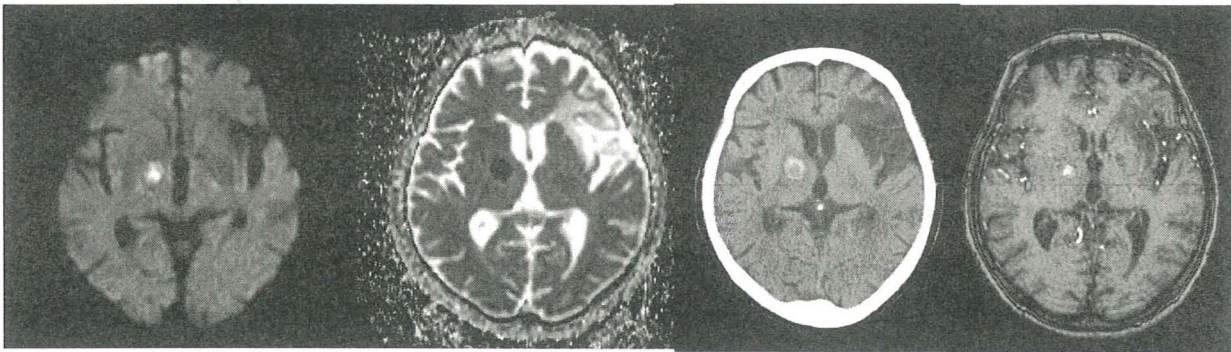
「撮影装置」

PHILIPS 社製 Intera Achieva Nova 1.5T

「頭部の拡散強調画像」

急性期の脳梗塞の診断に有用とされルーチンで撮像している。

脳出血の症例



拡散強調画像 b = 1000

ADC

CT

MRA 元画像

<頭部の拡散強調画像で高信号を呈し ADC で低下するもの>

細胞性浮腫（急性期脳梗塞含む）

粘ちような液体

出血（超急性期及び急性期）

細胞密度の高い腫瘍

などがあげられ脳梗塞だけでなく、脳出血、脳炎、てんかん、脳膿瘍など多岐にわたる。

T1 強調画像を撮影していない施設は MRA の元画像も T1 強調系の画像なので参考になる。

また、拡散強調画像は、くも膜のう胞と epidermoid(類上皮腫)の識別に有用である。

「躯幹部の拡散強調画像」

<目的>

病変の検出

病変の広がり

病変の良悪性の診断

病変の質的診断

<躯幹部の拡散強調画像で高信号を示す病変>

腫瘍

血腫

膿瘍

炎症

<正常でも拡散強調画像で高信号を示す組織>

扁桃、唾液腺、脾臓、リンパ節、子宮内膜、卵巣、前立腺、精巣、末梢神経の一部、骨髄など。

<拡散強調画像で高信号を示さない癌もあるので注意が必要>

粘液癌、非常に壊死が強い腫瘍、繊維化の強い腫瘍

<肝臓の拡散強調画像>

b = 8 TE=90 20slice

b = 8 TE=200 20slice

b = 1000 20slice 呼吸同期で脂肪抑制は SPIR を使用。当院では3つ拡散強調画像を撮像している。

<肝臓の拡散強調画像の注意点>

肝臓の左葉の病変は、心臓の拍動の関係で拾い上げにくい。

ブスコパンは禁忌（心拍数が上がり左葉出にくくなる。）

小さな病変の拾い上げには有用だが識別には他のシーケンスとの比較が必要。

S P I O 検査の時には造影後に拡散強調画像を撮像する方が良い。

<乳腺拡散強調画像のMRI >

仰臥位 胸部全体を幅広く撮像する。

b = 1000 自由呼吸 STIR 60slice : リンパ節や骨転移、他病変がないか確認するために撮像する。

腹臥位<両側乳房撮像>

b = 750 自由呼吸 SPIR 25slice

b = 1500 自由呼吸 SPIR 25slice b = 750 だと乳腺症が強い場合、正常乳腺と腫瘍のコントラストがつかないことがあるので、b = 1500 も撮像する。

<前立腺>

骨盤全体を幅広く

b=1000 自由呼吸 STIR 60slice : リンパ節や骨転移、他病変がないか確認するために撮像する。

前立腺に絞って

b=1000 自由呼吸 SPIR 25slice

b=2000 自由呼吸 SPIR 25slice

通常、拡散強調画像は b=2000 を見て判断している。

<深部静脈血栓症>

最近、新しい血栓が拡散強調画像で高信号を示すということが言われ深部静脈血栓症の時期を評価できるので、と注目を浴びている。

b=1000 自由呼吸 STIR 60slice

「まとめ」

拡散強調画像は、まだ発展段階だが、病変の検出能は高いので今後、全身の検査に移行していくと思われ期待が高まる分野である

鹿兒島の最新医療 PET-CT について

鹿兒島共済会南風病院 医療技術部放射線科 吉野 健

○PET とは

PET とは Positron Emission Tomography の略で陽電子放出断層撮影のことであり、陽電子放出核種で標識された薬剤を用いた核医学画像診断法です。 ^{11}C 、 ^{15}O 、 ^{18}F 等の放射性核種は陽電子を放出し、陽電子が運動エネルギーを失い電子と結合し消滅する際に 511 keV の光子を 180° 方向に 2 本放出します。PET 検査では、この陽電子放出核種を被検者に投与し、消滅光子を測定することで PET 核種の組織・臓器分布を画像化します。

○FDG - PET 検査

FDG は、注射されたのち、グルコースと同様、細胞膜のグルコーストランスポーターにより細胞内に取り込まれます。細胞内では、解糖系のヘキソナーゼによりリン酸化され、FDG - 6 - リン酸になります。グルコース 6 リン酸は解糖系で代謝されますが、FDG - 6 - リン酸は代謝が遅くなります。

癌細胞では、糖代謝とくに嫌気性解糖が亢進しています。癌細胞の FDG 集積は、増殖速度と相関しており、悪性度の高い腫瘍では FDG 集積が高くなります。

○PET-CT 装置

PET-CT 装置は、PET とヘリカル CT を合せた装置であり、同一寝台上において PET と CT の撮影を行うことのできる装置です。PET-CT 装置では、従来の $^{68}\text{Ge}/^{68}\text{Ga}$ での減弱補正に替わって CT の X 線の減弱にもとづいた補正を行い、従来法と比較して、大幅にスキャン時間の短縮が可能となりました。PET よりも解像度の高い CT 画像は、解剖学的情報に乏しい PET 画像の位置情報を補うためにも利用され、両画像を重ねあわせて診断に利用されています。

○PET 検査の流れ

サイクロトロンで ^{18}F を製造 → 合成装置で FDG を合成 → 品質検定
 分注・投与 → 安静 60 分 → 撮影 → 回復 → 必要に応じて遅延像

○最後に

FDG を用いた PET 検査はてんかんや虚血性心疾患及び悪性腫瘍の診断に用いられるが、特にかん診療においては腫瘍の存在診断、悪性腫瘍の病期分類の決定、治療法の決定、放射線治療範囲の決定、治療効果の判定、再発診断、予後の推定等に適応でき、臨床的有用性の高い腫瘍診断法の一つとして施行されている。

I - 125 シード線源永久挿入による前立腺癌密封小線源療法

鹿児島大学病院 臨床技術部放射線部門

豊田 雅彦

【はじめに】

本邦では高齢者の増加や食生活習慣の欧米化に伴い前立腺癌患者が増加傾向にある。

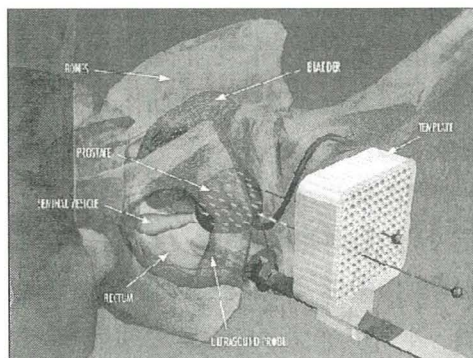
2003年9月より本邦において初めてI-125線源を用いた永久挿入治療が開始され、南九州地区では2006年6月に当院において本治療法を開始し、現在約35例が施行され、3ヶ月半の治療待ちの状態となっている。今回、本治療法について紹介し、合わせて当院での初期経験を報告する。

【密封小線源療法とは】

経直腸超音波（TRUS）下において前立腺内に低エネルギー（平均2.8KeV）の γ 線を放つヨウ素125（密封小線源）を埋め込み、癌細胞を死滅させる新しい放射線療法であり、正常組織の線量を抑えつつ標的部位に高線量を投与することが可能である。

【密封小線源療法の長所】

- 3-4日間の入院で癌治療終了
- 開腹手術をしないので、出血はほとんどない
- 外科的手術と同等の5年生存率
- 排尿障害/インポテンツの頻度少
- 保険適応



【密封小線源療法の適応】

- 限局性の前立腺癌（PSA<20 ng/ml）
- 10年以上の余命（80歳？）
- 前立腺の手術の既往がない
- 前立腺体積が40cc以下（穿刺障害、退出基準に関係する）

【治療法の決定因子】

- ①病期分類 ②腫瘍マーカー（PSA） ③Gleason grading

○小線源療法単独：低リスクのものが対象になる

病期分類：T1-T2a and PSA：10 ng/ml 未満 and Gleason Score：2-6

○小線源療法+外照射併用：中リスクのものが対象になる

病期分類：T2b, T2c or PSA：20 ng/ml 以上 or Gleason Score：8-10

【線源個数および線源配置の決定因子】

- 前立腺の体積（40cc未満）
- 前立腺のマージン
- 尿道及び直腸の耐用線量

【処方線量及び治療評価】

○小線源療法単独（I-125 処方線量：145Gy 以上）

○小線源療法+外照射併用（I-125 処方線量：100-110Gy、外部照射：40-50Gy）

治療評価はポストプラン時にD90もしくはV100にて行う。

D90：前立腺体積の90%をカバーできた線量（140Gy以上が理想的）

V100：処方線量以上の線量を投与された前立腺体積の割合（%）（80～95%以上が理想的）
（D90の至適線量）

140Gy ≤ D90 ≤ 180Gy （D90 > 180 → 長期の尿路障害が増加）

処方線量の100%（144Gy） ≤ 尿道線量 ≤ 処方線量の100～150%

直腸の最大線量 < 144Gy → 前立腺と直腸は近接しているので難しい。

【有害事象】

○早期合併症

・尿閉（5%）などの尿路閉塞症状、尿路刺激症状（術後αblocker投与必要） ・血尿、血便、肛門痛、便意頻回・線源のmigration（骨盤内・肺野）51.5%

○晚期合併症

・尿道炎、尿道狭窄（3%以下）、尿失禁（0-2%） ・直腸炎（5%以下）、直腸潰瘍（大腸ファイバー時に決して生検しないこと） ・ED（20%） シナデナフィルによく反応する。 ・放射線による2次性の癌（直腸がん1.7倍 シアトルグループ）

【治療の流れ】

3～4週間前にエコー下にて Preplan → 3週間前に線源発注 → 小線源治療 → 線源の脱落管理目的で一日入院 → 一月後CTにて Postplan（治療評価）

【放射線技師の役割】

○シード線源の発注（規格、個数、納入日を確認） ○シード線源の管理（受入時の個数確認、管理保管） ○脱落線源のサーベアー（治療室退出時、一次管理区域退出時） ○小線源治療に付随する確認画像撮影（プレプラン・術後24時間後・ポストプランにてCT撮影、術直後・術後24時間後・ポストプランにて迷走線源検索の単純撮影） ○小線源治療の付随する台帳管理

【症例報告】

○期間：2006年6月29日～12月14日 ○症例数：20例

○年齢（中央値）：59～74（67.5）歳 ○生検時PSA（平均）：4.5～15.8（7.7）ng/ml

○病理学的事項

Gleason score [3+3：17例、3+4：3例、4+3：1例]

臨床ステージ [T1c：10例、T2a：6例、T2b：4例]

○ネオアジュバントホルモン療法 [あり：8例 なし：12例]

○治療法の選択 [小線源療法単独：16例 小線源+外照射併用：4例]

○麻酔法 [全身麻酔：16例 腰椎麻酔：4例]

○麻酔時間（平均）：130～260（185）分 ○手術時間（平均）：50～210（118）分

【終わりに】

本治療は学会が自主的に定めたガイドラインをきちんと運用し安全講習会などを定期的に行い事故もなく適切に治療が行われている事が厚生労働省で高く評価されモデルケースとなっている。本治療は多くの前立腺癌患者より期待され、今後ますます症例が増加することと思われる。安全運用に努め、確実な信頼と実績が積み上げられることを期待したい。

春季学術大会 会員発表 座長集約

今給黎総合病院 馬場 なつき

今回の会員発表（セッション1）では RIS、超音波、一般撮影とバラエティーに富んだ内容となり5演題が発表された。

『RISの使用経験について』

放射線部内のシステムをスムーズに連携させるため RIS を構築した南風病院での使用経験の発表がなされた。オーダーを RIS 上で変更が出来ないため検査効率が低下し患者様の待ち時間が長くなる、システムダウン時の対策など問題点が報告された。

『超音波検査時寝台の一工夫』

超音波検査時に検査効率向上により検査時間の短縮を目的とし、寝台を作成し使用経験の報告がなされた。作成した寝台により患者様が仰臥位のままでいいので効率よく検査できるが、患者様を動かすことにより臓器を動かしそれを評価することが大事なのではないかという質問もあり、これから更なる検討を行っていただきたい。

『線量低減による FNC 処理の有用性』

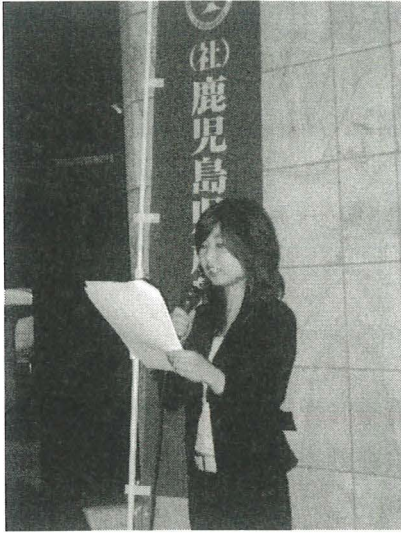
X線単純撮影時、線量不足でノイズ成分が増加し粒状性の悪化がみられるがその対策として FNC 処理の検討し、その報告がなされた。FNC 処理を使用することにより信号成分はからノイズ成分が除去され画質の検出能が上がり、さらに線量低減が期待できるという画期的な処理であると感じた。FNC 処理が可能な施設は是非、この処理を理解し撮影条件の検討を行っていただきたい。

『マンモ施設認定取得への取り組み』

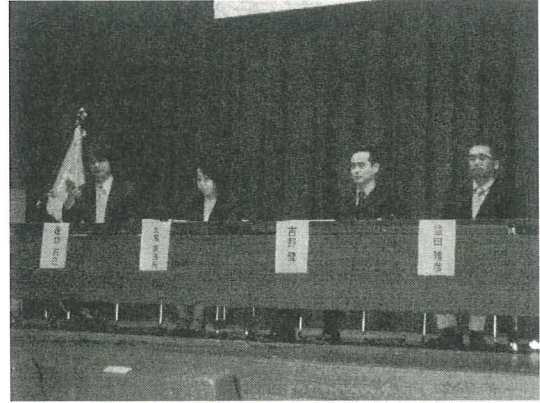
マンモグラフィ検診施設認定取得に向けて鹿児島大学病院で取り組んだ内容の報告がなされた。よりよい画像を撮影するために問題点をあげ対策が報告された。ポジショニングのトレーニングやパラメーターの変更など施設認定を受けようと思っている施設には参考になったのではないかと思う。施設認定を取得することが最終目的ではないので、まずはメーカーに頼らずに自分たちで精一杯できる画像を撮影・作成していただきたい。

『当院の乳癌検診の現状』

乳癌検診受診者にアンケート調査を行い、その報告と霧島市医師会医療センターでの啓発活動が紹介された。乳癌検診率を上げるためにポスターを貼ったり、検診受診者にダイレクトメールを郵送したり積極的な活動が覗えた。また、アンケート結果で手袋を着用しての撮影が好評であるという報告があったが接遇と画質のバランスが大事だと考える。



シンポジウム会員発表



シンポジスト



塩屋 晋吾 氏



奥 好史 氏



下園 大介 氏



隈元 満広 氏



座長 馬場なつき 氏



鮫島会長挨拶



司会進行 有菌 理事



瀬戸 和人 氏



清水ゆかり 氏



大久保副会長挨拶



特別講演 阿部一之先生



白石 朋之 氏

会計だより

平成19・20年度会費について

■正会員

(社)日本放射線技師会費	13,000 円
日本放射線技師会雑誌購読料	2,000 円
九州地域放射線技師会会費	500 円
(社)鹿児島県放射線技師会費	7,000 円
合計金額	22,500 円

【日本放射線技師会会費規程】(抜粋)

会費額は、年額 13,000 円とする。

- (1) 本会に入会しようとする者の会費額は入会初年度に限り 18,000 円とする。
- (2) 診療放射線技師登録年度内の入会者に限り、初年度会費額を 5,000 円とする。
2. 前項の会費額は、納入時期による割引はしない。
3. 本条第1項に定める会費額その他、本会定期刊行物の購読料(2,000 円)を併せて納入するものとする。但し、第1項第2号に規定する者は、この限りではない。

■準会員

(社)鹿児島県放射線技師会費	20,000 円
(備考)	

- 郵便振替払込の際は下記宛までお願いします。

[口座番号] 02030-3-12696

[加入者名] 鹿児島県放射線技師会

- 銀行口座振込の際は下記の口座宛までお願いします

普通預金口座

鹿児島銀行高見馬場支店

口座番号：675652

社団法人鹿児島県放射線技師会

- 受領証は発行しませんので、振替払込時の払込票で代用していただくようお願いいたします。

- 日本放射線技師会の会費納入により、19年度の会費納入は、9月30日となっております。事務処理上9月20日までに納入をお願いします。

- 20年度分に関しては平成20年3月15日までにお願いします。

問い合わせ先

鹿児島市立病院 放射線技術科

(TEL)099-224-2101 内線 2610 西元まで

《《《 会費納入について 》》》

平成20年度より日本放射線技師会の会費が前納制となります。従いまして、平成19年度に平成20年度分の会費の納付が必要になります。平成19年10月1日から平成20年3月15日まで会報に同封の払込通知票にて納付をお願い致します。

《《《 御注意 》》》

9月30日までに当該年度会費の納入がない場合、日本放射線技師会会誌及び、Network-Newsの発送が停止いたします。

また、鹿児島県放射線技師会におきましては、2年以上年会費の未納がある場合には鹿児島県放射線技師会会報及び、ニュースも同様に発送が停止しますので御注意ください。未納年度会費がある場合は、当該年度会費として納入されましても自動的に未納年度に振り替えられます。

■ 理事・監事

役職名	氏名	郵便番号	勤務先／勤務先住所	電話番号／E-mail アドレス
会長	西本孝市	892-8580	鹿児島市立病院 鹿児島市加治屋町 20-17	099-224-2101 kaicyo@kagoshima-rt.com
副会長	池田 睦	890-8520	鹿児島大学病院 鹿児島市桜ヶ丘 8-35-1	099-275-5664 fukukaicyo@kagoshima-rt.com
監事	鮫嶋宗俊			kanji@kagoshima-rt.com
監事	西元広男			kanji@kagoshima-rt.com
理事 総務	原口 誠	890-0060	鹿児島県厚生連健康管理センター 鹿児島市与次郎 1-13-1	099-256-1137 iinkai@kagoshima-rt.com
理事 総務	永田隆二	892-8580	鹿児島市立病院 鹿児島市加治屋町 20-17	099-224-2101 soumu@kagoshima-rt.com
理事 財務	西元辰也	892-8580	鹿児島市立病院 鹿児島市加治屋町 20-17	099-224-2101 zaimu@kagoshima-rt.com
理学 事術	小林保浩	890-8520	鹿児島大学病院 鹿児島市桜ヶ丘 8-35-1	099-275-5664 gakujutsu@kagoshima-rt.com
理学 事術	新村栄次	892-8502	今給黎総合病院 鹿児島市下竜尾町 4-6	099-099-226-2211 gakujutsu@kagoshima-rt.com
理学 事術	石本裕二	892-8512	(社)鹿児島共済会南風病院 鹿児島市長田町 14-3	099-226-9111 gakujutsu@kagoshima-rt.com
理事 広報編集	富松正明	890-0064	鹿児島市医師会病院 鹿児島市鴨池新町 7-1	099-245-1125 kouhou@kagoshima-rt.com
理事 福利厚生 組織表彰	大久保光男	895-0065	川内市医師会立市民病院 薩摩川内市永利町 4107-7	0996-22-1111 fukuri@kagoshima-rt.com

(社) 鹿児島県放射線技師会準会員名簿

名 称	郵便番号	連 絡 先
島津メディカルシステムズ株式会社 鹿児島営業所	891-0113	鹿児島市東谷山1-33-1 TEL 099-263-3572
(株)南九州電子サービス	890-0063	鹿児島市鴨池二丁目15-2 TEL 099-253-7397
八 郷 医 療 機 器	890-0114	鹿児島市小松原一丁目29-5 TEL 099-268-0010
(有)太 陽 化 学	890-0021	鹿児島市小野町3-11-1 TEL 099-220-0063
(株)千 代 田 テ ノ ル	812-0035	福岡市博多区中呉服町1-5 祐徳ビル1号館7階 TEL 092-262-2233
アロカ株式会社 鹿児島営業所	890-0082	鹿児島市紫原5-16-8 TEL 099-252-7007
(社)日本画像医療システム工業会 九 州 支 部	812-0016	福岡市博多区博多駅南3-3-2 コニカミノルタメディカル(株)九州支店内 TEL 092-441-4161

編集後記

今年の夏は例年のない猛暑が続きました。
暦の上では、もう9月が終わろうとしています・・・
まだまだ、残暑厳しい日々が続いています。

さて、秋と言えば、スポーツの秋、芸術の秋、そして食べ物が美味しい季節でもあります。しかし、最近になって「メタボリック症候群」という言葉をよく聞くようになりました。内臓脂肪型肥満を簡単に調べる方法として、ウエスト径（へそまわり）が男性では85cm以上、女性では90cm以上であれば内臓脂肪型肥満が疑われます！
皆さん如何でしょうか！？

最近では、肥満気味の子供も増えているようです。子供の肥満の約70%は成人肥満に移行するといわれています。また高度な肥満では小児期からでも、糖尿病、高血圧、高脂血症などの生活習慣病を合併するのです。

ウエスト径を減らすために・・・
内臓脂肪がたまりやすい食事は、高脂肪食、高シヨ糖食、高カロリー食（食べ過ぎ）、低繊維食（緑黄色野菜の不足）です。また濃い味付けは塩分を摂りすぎるだけでなく、食欲をそそり食べ過ぎを招きます。

誰でも簡単に、毎日出来る運動としてオススメなのは「ウォーキング」です！
厚生労働省の「健康日本21」によると、健康維持に最適な運動消費カロリーは1週間で2,000kcal、1日あたり300kcalといわれています。
体重60kgの人が時速4km（やや早歩き）のペースで、歩幅70cmで10分間歩く（700m、1000歩）の時の消費エネルギーは約30kcalになります。
1日300kcalを消費するには1日で1万歩を歩けばいいのです！

さ～皆さん、レッツウォーキング！

M. T

廣 告 掲 載 一 覧

会 社 名	郵便番号	住 所	電話番号
エーザイ株式会社	890-0053	鹿児島市中央町12-2 明治安田生命西鹿児島ビル6F	099-254-9860
株式会社 八郷医療器	890-0114	鹿児島市小松原一丁目29-5	099-268-0010
株式会社 太陽化学	890-0021	鹿児島市小野町3-11-1	099-220-0063
南九州電子サービス株式会社 鹿児島営業所	890-0063	鹿児島市鴨池二丁目15-2	099-253-7397
堀井薬品工業株式会社 福岡営業所	814-0144	福岡市城南区梅林4-1-1	092-864-5978
日本メジフィジックス 鹿児島営業所	892-0842	鹿児島市東千石町2番1号 DAIICHI山善ビル3F	099-805-2005
バイエル薬品株式会社 九州第二営業所	892-0847	鹿児島市西千石町11-25 鹿児島フコク生命高見馬場ビル2F	099-805-2536
富士フィルムRIファーマ株式会社	812-0039	福岡市博多区博多駅東二丁目10-1 第一福岡ビル	092-432-0175
第一三共株式会社 鹿児島営業所	892-0847	鹿児島市西千石町17-3 太陽生命鹿児島第二ビル3F	099-219-9171
田辺製薬株式会社 鹿児島営業所	890-0062	鹿児島市与次郎2-4-35 KSC鴨池ビル7F	099-251-5151
株式会社根本杏林堂 福岡営業所	812-0013	福岡市博多区博多駅東一丁目14-34 博多ICビル1F	092-414-7345
長瀬ランダウア株式会社	550-0013	大阪市西区新町一丁目10番2号	06-6535-2675
九州シーマン販売株式会社	810-0042	福岡市中央区赤坂一丁目5番22号5F	092-725-4450
株式会社 ネオテック 鹿児島営業所	890-0054	鹿児島市荒田1-2-9	099-252-3488
日本画像医療システム工業会	812-0016	福岡市博多区博多駅南3-3-2 コニカミノルタメディカル(株)九州支店内	092-441-4161
(株)千代田テクノル 福岡営業所	812-0035	福岡市博多区中呉服町1-5 (祐徳ビル1号館7階)	092-262-2233
株式会社 A Z E	100-0004	東京都千代田区大手町2-1-1 大手町野村ビル10F	03-5255-7721

(順不同)

(社) 日本画像医療システム工業会九州支部

会 社 名	郵便番号	住 所	電 話 番 号
株式会社 エルクコーポレーション 鹿児島営業所	891-0122	鹿児島市南栄5丁目10番29号	099-266-3141
ケアストリームヘルス株式会社 エリア販売促進部 九州エリア担当	812-0016	福岡市博多区博多駅南1-2-3 博多駅前ビル6F	092-413-8460
コニカミノルタヘルスケア株式会社 九州支店	812-0007	福岡市博多区東比恵1丁目2-12 R&Fセンタービル3F	092-451-3453
コニカミノルタヘルスケア株式会社 鹿児島営業所	891-0115	鹿児島市東開町4-7	099-267-1888
株式会社 島津製作所 鹿児島営業所	891-0113	鹿児島市東谷山1-33-1	099-263-3572
シーメンス旭メディテック株式会社 南九州営業所	892-0825	鹿児島市大黒町4-11 日宝いづろビル	099-223-1895

(社) 日本画像医療システム工業会九州支部

会 社 名	郵便番号	住 所	電 話 番 号
東芝メディカルシステムズ株式会社 鹿 児 島 支 店	892-0844	鹿児島市山之口町 1 番10号 鹿児島中央ビル	099-226-7792
株式会社 日立メディコ 九 州 南 支 店	892-0844	鹿児島市山之口町 2 - 30 鹿児島第一・海上ビル	099-223-5721
フィリップスエレクトロニクスジャパン 熊 本 支 店	860-0844	熊本市水道町8-6 朝日生命熊本ビル	0120-556-494
富士フイルムメディカル 株式会社 鹿 児 島 営 業 所	890-0073	鹿児島市宇宿 1 丁目13-10	099-253-0091
G E 横河メディカルシステム株式会社 鹿 児 島 営 業 所	890-0062	鹿児島市与次郎2-4-35 KSC鴨池ビル 3 F	099-255-0701
株式会社メディソンアコマ西日本販売	812-0065	福岡市東区二又瀬新町13番17号	092-621-0221
株式会社 エ ス ・ ア ー ル	812-0001	福岡市西区小戸 4 丁目28-45	092-894-3800

lomeron®

指定医薬品・処方せん医薬品：
注意—医師等の処方せんにより使用すること

非イオン性造影剤 [薬価基準収載]

イオメロン® 300
350
400

〈イオメプロール注射液〉

300・350 (尿路・CT・血管用) / 400 (尿路・血管用)
内容量：20mL, 50mL, 100mL

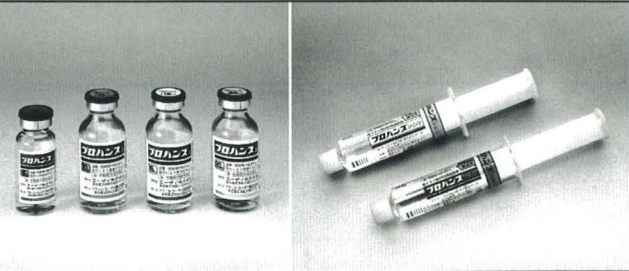
指定医薬品・処方せん医薬品：
注意—医師等の処方せんにより使用すること

非イオン性造影剤 [薬価基準収載]

イオメロン® 300シリンジ
350シリンジ

〈イオメプロール注射液〉

内容量：50mL, 75mL, 100mL



指定医薬品・処方せん医薬品：
注意—医師等の処方せんにより使用すること

非イオン性MRI用造影剤 [薬価基準収載]

プロハンス®注

〈ガドテリドール注射液〉

内容量：5mL, 10mL, 15mL, 20mL

指定医薬品・処方せん医薬品：
注意—医師等の処方せんにより使用すること

非イオン性MRI用造影剤 [薬価基準収載]

プロハンス®シリンジ

〈ガドテリドール注射液〉

内容量：13mL, 17mL

ProHance®

● 効能・効果、用法・用量及び警告、禁忌、原則禁忌を含む使用上の注意等については添付文書をご参照ください。

製造販売元
ブラッコ・エーザイ株式会社
〒112-0012 東京都文京区大塚 3-11-6

販売元
エーザイ株式会社
〒112-8088 東京都文京区小石川4-6-10
<http://www.eisai.co.jp>

提携先
ブラッコ インターナショナル

商品情報お問い合わせ先：エーザイ株式会社 お客様ホットライン室 ☎0120-419-497 9～18時(土、日、祝日 9～17時)

ZO0707-2 2007年7月作成

おもいやりをたしかに



株式会社

八郷医療器

〒891-0114 鹿児島市小松原一丁目29-5
TEL 099-268-0010
FAX 099-267-7790

HORII PHARM. IND., LTD.

胃二重造影用硫酸バリウムX線造影剤

バリコンミール

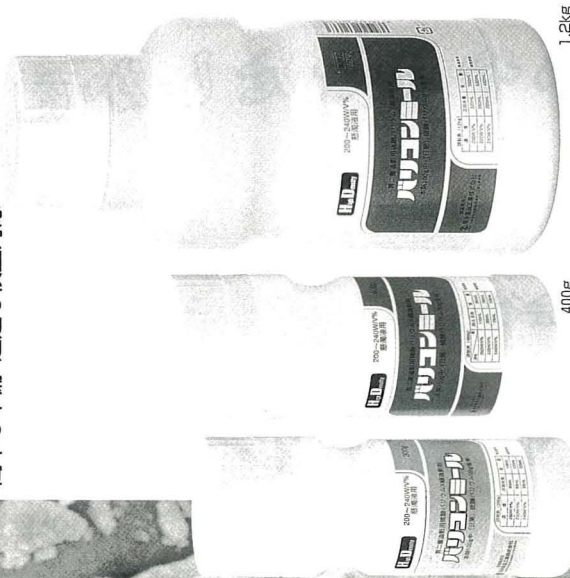
薬価基準収載 普通薬

シエイクボトル入り

簡単な準備・迅速な検査対応

High Density

より確実な存在診断のため



- 大粒子特性による高濃度・低粘性
- 明瞭なコントラストと鮮明な粘膜描出
- 優れた透視観察能
- 少量服用による二重造影診断域の拡大

袋入り	シエイクボトル入り
300g×40	300g×24
400g×30	400g×24
1.2kg×10	300g×30※
1.2kg×15※	1.2kg×6※

※集検用

※禁忌、効能・効果、用法・用量、使用上の注意等の詳細につきましては、製品添付文書をご参照下さい。

胃 腸の診断を通じて奉仕する



堀井薬品工業株式会社

本社 大阪府中央区内淡路町1丁目2番6号
TEL 06-6942-3481(代)
(資料請求先:学術情報部)

●お問い合わせは、もしよりの営業所へ

札幌	011-812-2640	金沢	076-291-3889
仙台	022-221-3047	名古屋	052-331-7860
東京中央	03-3507-3771	大阪	06-6936-5441
東京神奈川	042-753-3591	福岡	092-281-2889
東京北	048-663-9491	広島	087-843-3826
新潟	025-244-6476	福岡	092-864-5978



本社
日置市石谷町106番地2
TEL 099-278-1783

平成18年(産業廃棄物処理業者優良評価基準適合第1号取得) 私たちは、21世紀を救う環境調理人です。



環境方針(抜粋)

産業廃棄物を処理するにあたり、環境汚染防止に努め、環境影響を低減させる為、環境目的、目標を定め継続的改善を図りその維持に努めます。

廃棄物のエネルギーを利用して廃棄物を処理し省資源化を行い、資源のリサイクルを促進すると同時に、天然資源の有効利用を図ります。

環境大臣賞受賞
2002.12.6



FUJIFILM

核医学の あらたなるフィールドへ。

画像技術と、核医学のコラボレーション。

いま、ここから、私たち富士フィルムRIファーマは富士フィルムグループの一員として、出発しました。



私たちは株式会社第一ラジオアイソトープ研究所から、

富士フィルムRIファーマ株式会社

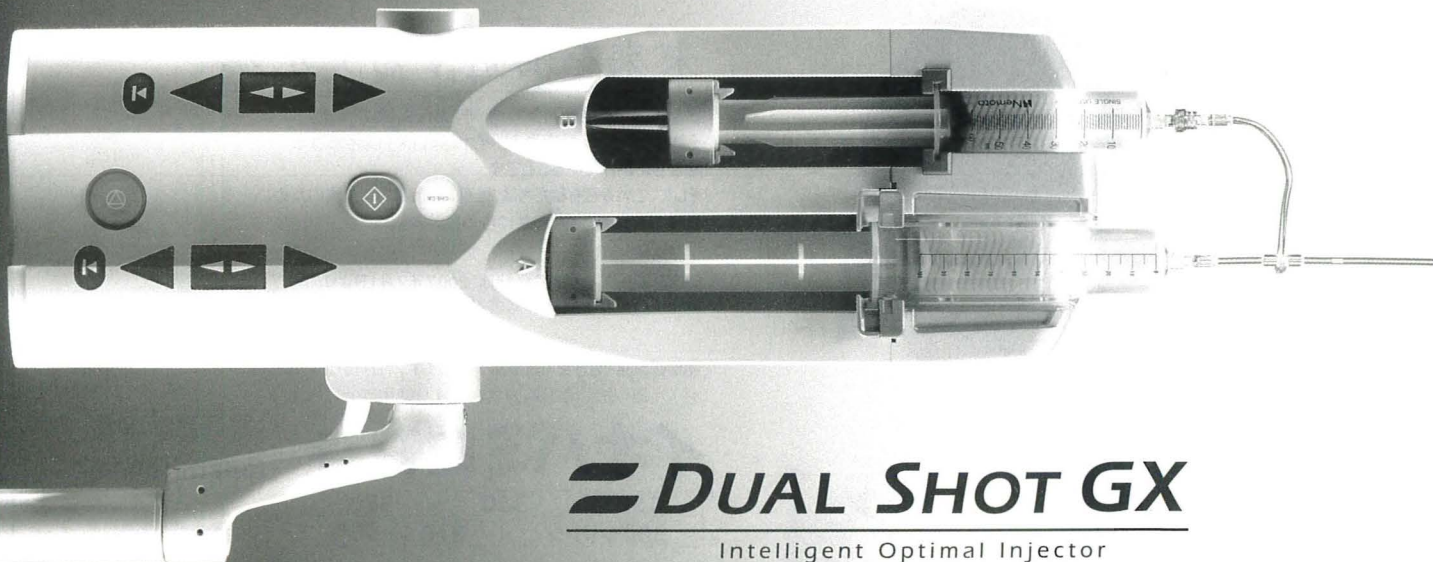
へ社名変更しました。

生命の世紀ともいわれる21世紀、ライフサイエンスは一段と進歩を速め、医学への展開が期待されております。患者様の視点やQOLを重視した医療がますます推進されるなか、いち早く病気を見つけるため、安心して病気を治すため、そしていつまでもすこやかであり続けるために、核医学診療が果たす役割はますます大きくなるものと考えております。

富士フィルムRIファーマ株式会社

〒104-0031 東京都中央区京橋1-17-10 内田洋行京橋ビル TEL.03(5250)2620
ホームページ: <http://fri.fujifilm.co.jp>

2007年4月作成



DUAL SHOT GX

Intelligent Optimal Injector



グッドデザイン賞
受賞商品

グッドデザイン中小企業庁長官特別賞
Good Design Prize
of Small and Medium Enterprises

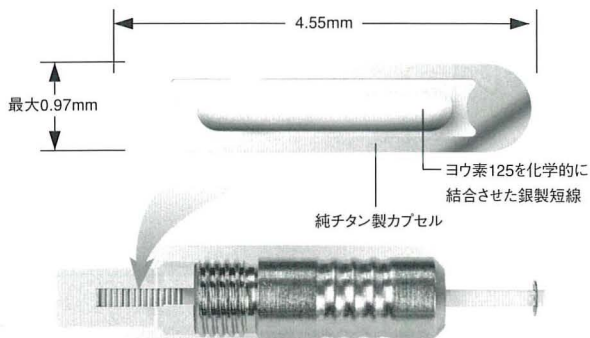


MDCTの進化と共に...

Nemoto

株式会社 根本杏林堂
東京都文京区本郷2-27-20 TEL.03-3818-3541 <http://www.nemoto-do.co.jp>

nihon
medi+physics



オンコシード® CP

- カートリッジに充てんする手間がありません。
- 被ばくを低減できます。

◇納入日までの期間が短縮されました。

OncoSeed™ (Iodine-125 Seeds) 非中心循環系永久刺入向け手動式
ブラキシセラピー装置用放射線源

オンコシード®

医療機器承認番号：21400BZY00514000
詳細は添付文書等をご参照ください。

Oncoseed, オンコシードは、登録商標です。

私は闘い続ける。家族や友人、そして…
体の中の小さなカプセルと一緒に。



製造販売元

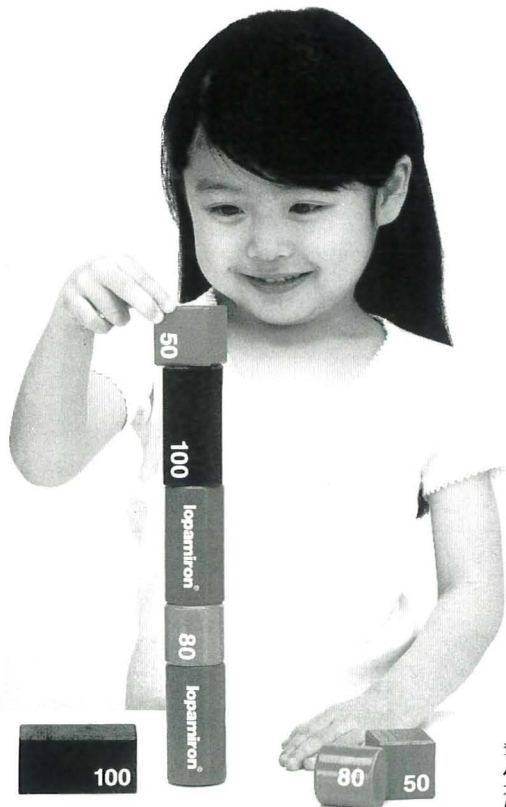
日本メジフィジックス株式会社

〒136-0075 東京都江東区新砂3丁目4番10号

【製品問合せ窓口】治療製品企画部

〒136-0075 東京都江東区新砂3丁目4番10号 TEL. (03) 5634-7453 FAX. (03) 5634-5173

2006年4月作成



未来を創造するチカラ。

医療現場の声をチカラに、未来を創造し続けること。
それは、非イオン性造影剤「イオパミロン®」の発売以来
私たちが続けていることです。
そして、これからも私たちは、画像診断領域の発展のため、
皆様の声に耳を傾け、共に歩み続けます。

日本シエーリング株式会社は、2007年7月1日より、
新たにバイエル薬品株式会社としてスタートいたしました。

指定医薬品・処方せん医薬品^注 非イオン性尿路・血管造影剤 (イオパミドール注射液)
注) 注意-医師等の処方せんにより使用すること

イオパミロン®注

薬価基準収載
Iopamiron® Inj.

150 300 370
300 シリンジ 370 シリンジ

- 効能・効果、用法・用量、警告・禁忌・原則禁忌を含む
使用上の注意等については、添付文書をご参照ください。
- 警告、禁忌、原則禁忌を含む使用上の注意の改訂に
十分ご留意ください。

本剤の商標は  イタリアの許諾に基づく

資料請求先
バイエル薬品株式会社
大阪市淀川区宮原3-5-36 〒532-8577
<http://www.bayer.co.jp/byl>



Bayer HealthCare
Bayer Schering Pharma

IOP-07-0606
(2007年6月作成)

プロのめがね



非イオン性尿路・血管造影剤 薬価基準収載
プロスコフ® 300シリンジ
 Proscope® 300 Syringe (イオプロミド注射液)

指定医薬品 処方せん医薬品 (注意—医師等の処方せんにより使用すること)

効能・効果、用法・用量、警告、禁忌・原則禁忌を含む
 使用上の注意等については、添付文書をご参照ください。

提携
シエーリングAG
(ドイツ連邦共和国)

〈資料請求先〉
 **田辺製薬株式会社**
 大阪市中央区道修町3丁目2番10号
<http://www.tanabe.co.jp/>

2006年8月作成

作業環境測定サービス

作業環境測定機関 (登録番号08-29)

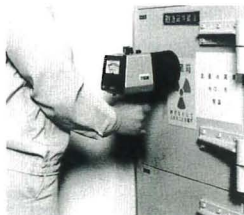
非密封の放射性同位元素を取り扱う事業所では、その事業所の『作業環境測定士』が行うか『作業環境測定機関』に委託して、1ヶ月以内ごとに1回作業場所の空气中放射能濃度を測定しなければならないこととなっています。

放射性同位元素等の環境測定に、高い技術力と信頼できるデータを提供する、千代田テクノルの作業環境測定サービスをぜひご利用ください。

- ◇ 空气中放射性物質濃度測定
- ◇ 表面汚染密度測定
- ◇ 空間線量測定
- ◇ 水中放射性物質濃度測定



測定作業



空間線量測定



空气中放射性物質サンプリング

作業環境に対する考え方…どの段階ですか？

- ◆ 労働衛生管理は企業経営の必須条件だから
- ◆ 作業環境管理は品質管理と同様にTQCの一つと考えられ、経営上積極的なメリットがあるから
- ◆ 法律によって義務づけられているから

TECHNOL
 CHIYODA TECHNOL CORPORATION

株式会社 **千代田テクノル** 営業部

〒113-8681 東京都文京区湯島1-7-12 千代田御茶の水ビル
 TEL03 (3816) 1163
www.c-technol.co.jp

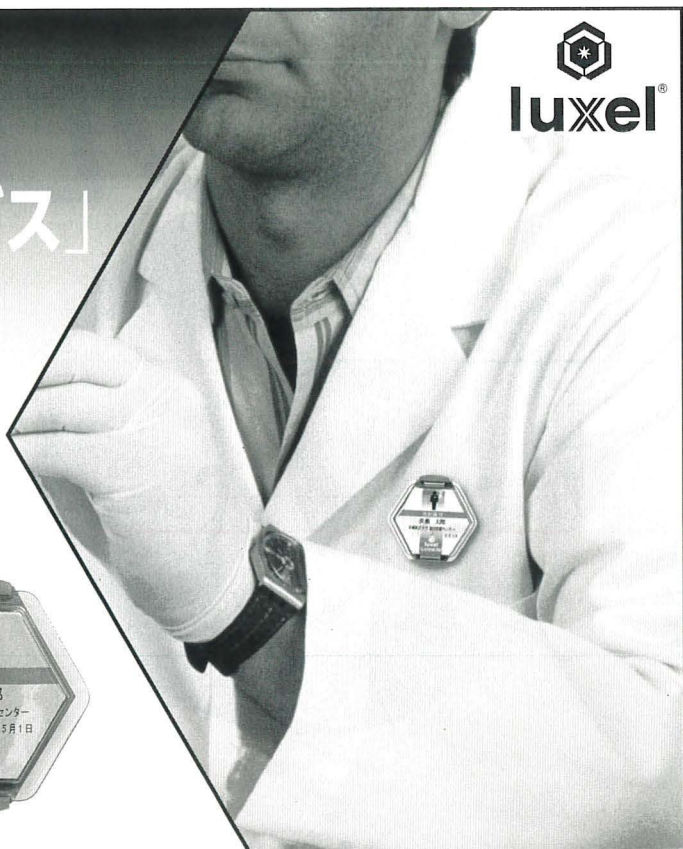
個人被ばく線量測定 「ルクセルバッジサービス」



ルクセルバッジは、OSL*法による、
高い検出感度と広い測定線量範囲、
繰り返し測定などを実現。
高い信頼性に基づいた
測定報告書とともに、
安心もお届けいたします。



*Optically Stimulated Luminescence



長瀬ランドウア株式会社

本社/〒103-8487 東京都中央区日本橋久松町11-6 Tel.03-3666-4300 Fax.03-3662-9518
大阪営業所/〒550-8668 大阪市西区新町1-1-17 Tel.06-6535-2675 Fax.06-6541-0931
ホームページアドレス/ <http://www.nagase-landauer.co.jp>



非イオン性造影剤 (イオヘキソール注射液)

指定医薬品、処方せん医薬品*

薬価基準収載

オムニパーク®

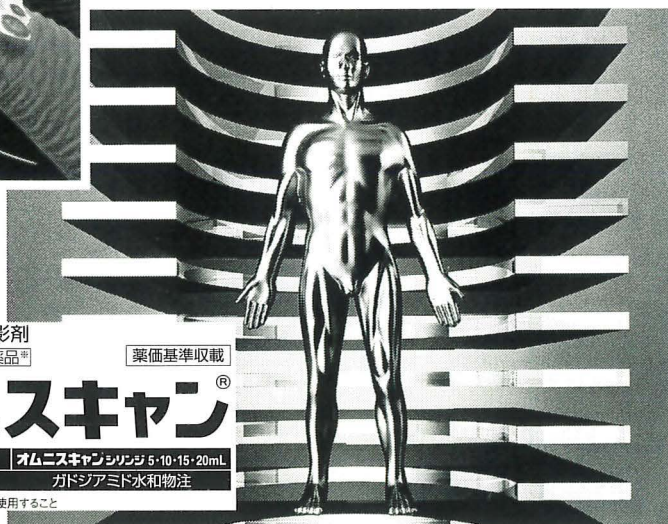
OMNIPAQUE® SYRINGE

240シリンジ 100mL	300シリンジ 50mL 80mL 100mL 125mL 150mL	350シリンジ 70mL 100mL
------------------	--	-----------------------

※注意—医師等の処方せんにより使用すること

★効能・効果、用法・用量、警告、禁忌、原則
禁忌および使用上の注意等につきましては、
製品添付文書をご参照ください。

240シリンジ
300シリンジ
350シリンジ



非イオン性MRI用造影剤

指定医薬品、処方せん医薬品*

薬価基準収載

オムニスキャン®

オムニスキャン 20mL オムニスキャンシリンジ 5・10・15・20mL
OMNISCAN® ガドソリアミド水和物注

※注意—医師等の処方せんにより使用すること



製造販売元(資料請求先)

第一三共株式会社

Daiichi-Sankyo 〒103-8426 東京都中央区日本橋本町3-5-1

第一製薬株式会社と三共株式会社は2007年4月1日より
第一三共株式会社として新たにスタートしました。

この速さはPCIをかえる



速さが実現するソリューション

Nahri-AQUAが実現したのは、動画の再生速度をあげることだけでは
ありません。目的の動画へスピーディに到達できるインターフェースや
強力な検索機能、計測機能など多彩な機能を搭載しています。
すべての機能は、使いやすさと速さを実現するために有機的に連携し
ています。

NEXISが提案する、快適な動画ネットワークをご堪能下さい。

Standard

- ・イベントツリービュー機能 (時系列患者管理機能)
- ・ECG波形表示機能 (対応モダリティのみ)
- ・簡易DSA機能
- ・ショートカットキーカスタマイズ機能
- ・DICOM Q/R 対応
- ・マルチディスプレイ対応
- ・簡易レポート印刷
- ・DICOM PRINT対応

Option

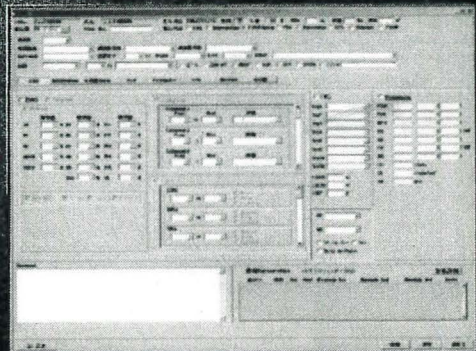
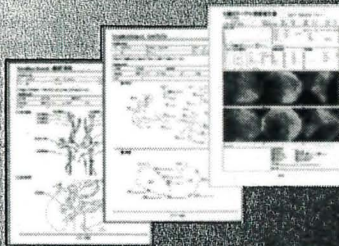
- ・DataBase (カスタマイズDB)
- ・QCA/LVG解析 (CAAS II)
- ・バイオメトリクス認証
- ・スキャナ/デジタル画像
- ・CDビューア書き出し機能
- ・コンピュータシステム
- ・Web配信



データベースが実現するエビデンス (Data Base)

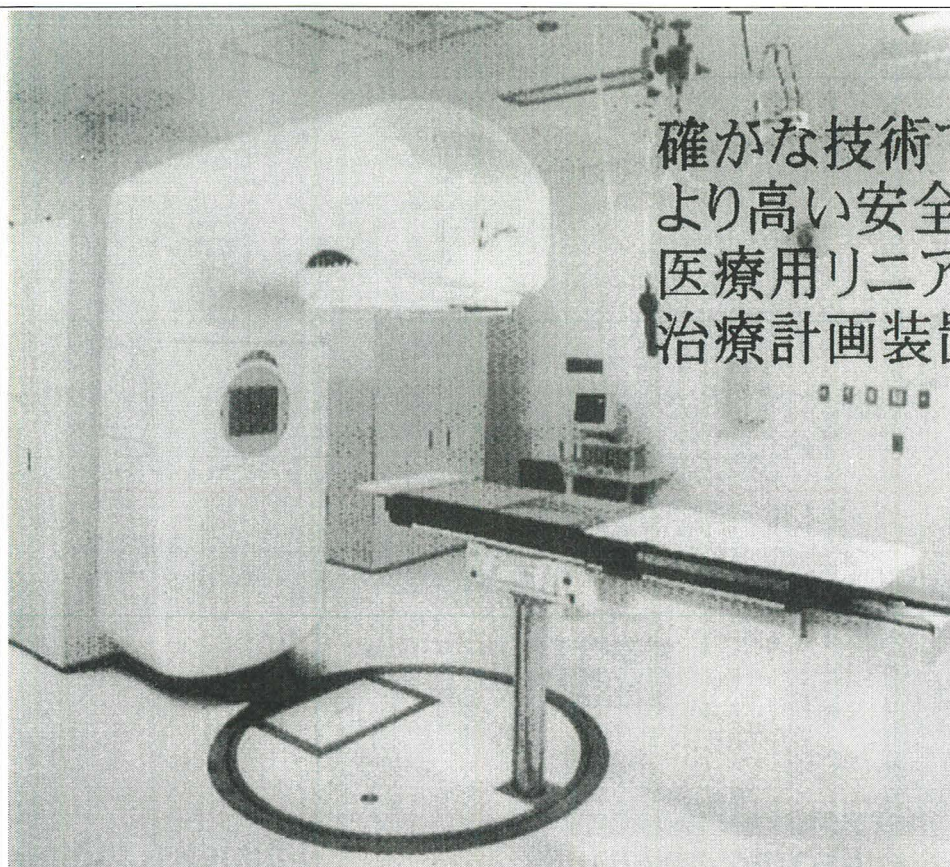
Nahri-AQUAはただ画像を蓄積、再生するだけのシステムではあり
ません。PCI、CAG、Pacemaker、EPS、Ablation、超音波断層撮影
など、循環器疾患分野の患者情報、手技情報、検査情報をすべて
蓄積し、様々な帳票やレポートとして出力する事が可能です。

蓄積されたデータは様々な条件のもと、集計出力することができます。
例えば糖尿病でPCIを行った患者様のデータだけを抽出したり特定の
薬剤を使用している患者様のデータのみを抽出したりといった検索を
瞬時に行うことができます。
Nahri-AQUAがあればもう紙カルテや伝票をひっくり返して何かを探す
事がなくなります。

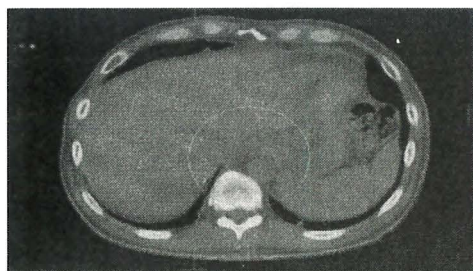


株式会社 ネオテック
 本社 北九州市小倉南区徳力新町1-20-5
 TEL 093-961-1522 FAX 093-961-1521
 営業所 福岡本社・長崎・熊本・大分・宮崎・久留米・佐賀・大村

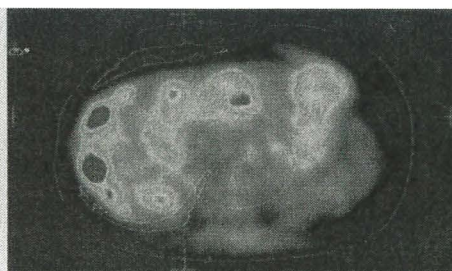
NEOTEC CO.,LTD.
 鹿児島営業所 鹿児島市荒田1-2-9
 TEL 099-252-3188 FAX 092-251-4551



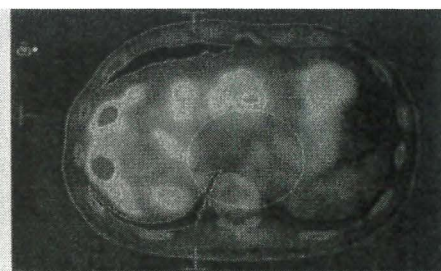
確かな技術で
より高い安全性をめざして
医療用リニアック、
治療計画装置をサポートします



CT画像



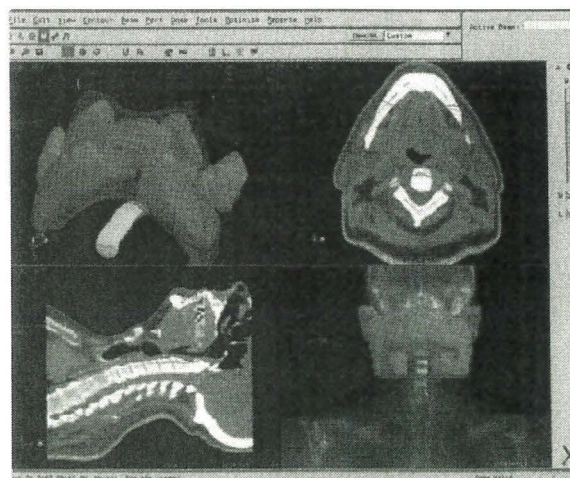
PET画像



PET/CTフュージョン像

高度な機能と満足をご提供します

- 治療装置システムのご提案
- 保守点検、メンテナンス



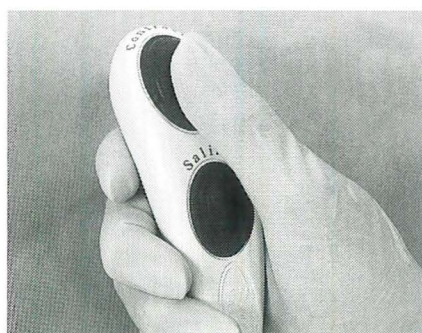
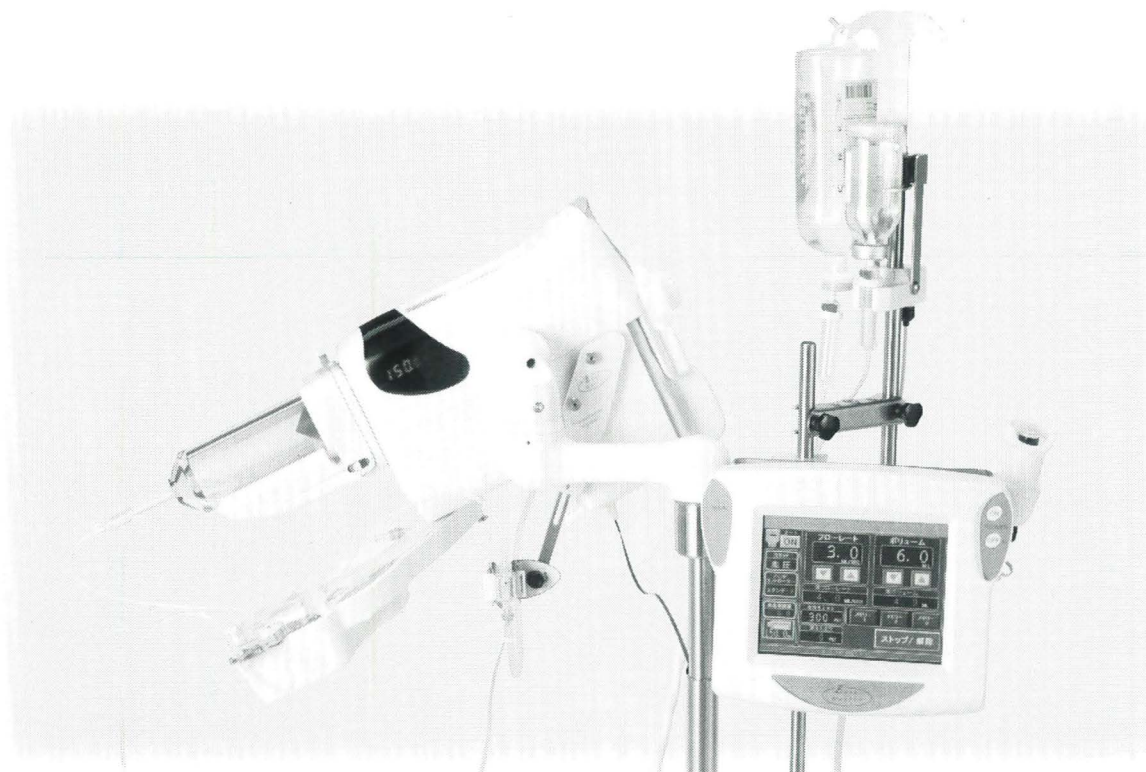
南九州電子サービス株式会社
<http://bizwin.biz/mqds.php?&blogid=27>

本社 宮崎市広島1丁目 1-10 TEL0985-29-8371
鹿児島 鹿児島市鴨池2丁目 15-2 TEL099-253-7397

造影剤自動注入装置

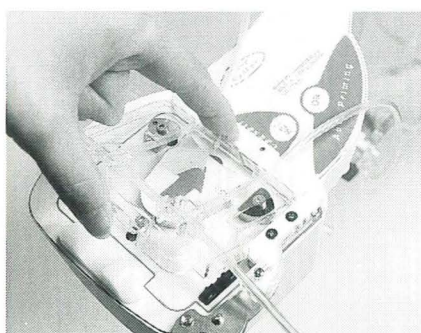
Zone Master[®] Z model —ゾーンマスター[®] Zモデル—

循環器系を網羅したオールラウンドインジェクター



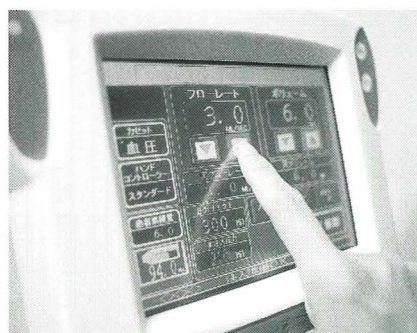
ディスポーザブル バリアブルハンドスイッチ

造影剤の速度可変注入と生理食塩水のフラッシュができます。安全で高いレスポンスの光ファイバーケーブルを採用しました。



ディスポーザブルチューブ カセットキット

独自のディスポーザブルキットはカセット式です。装着が簡単に行えます。



リモートコントロール

大型7.4型TFTカラー液晶タッチパネルにより、視認性・操作性の向上及び誤操作を防ぎます。使用言語はもちろん日本語です。累積量、残量表示、注入毎の注入結果(実注入速度、実注入量、実注入圧)を表示します。



信頼をかたちに
シーマン株式会社
<http://www.sheen-man.co.jp>

本 社 大阪市北区東天満1丁目12番10号 〒530-0044
TEL (06) 6354-7702 FAX (06) 6354-7114
東京支店 東京都千代田区一番町6番地 〒102-0082
TEL (03) 3238-0151 FAX (03) 3238-0152



信頼をかたちに
九州シーマン販売株式会社
福岡市中央区赤坂1-5-22 〒810-0042
TEL (092) 725-4450 FAX (092) 725-4457

AZE

稲妻のような衝撃を! **新登場**

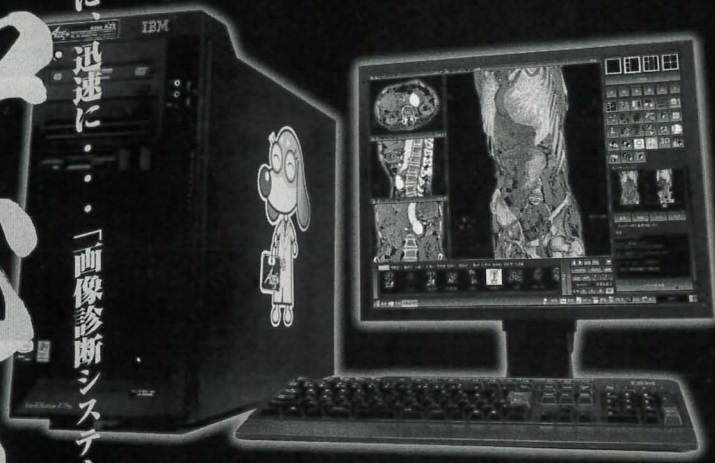
AZE Virtual Place

ライジン
Raijin



和
心
伝
心

正確に、迅速に……「画像診断システム」という心が伝わる!



AZEの「和ごころ」

CTやMRの精度向上に伴い3D画像診断の可能性が、

最大限に引き出されることとなった現在、

迅速かつ有用な画像診断システムを、

日常普通に使えること……

日常の画像診断システムとして、

「なくてはならないワークステーション」に……



臨床の世界に斬新な風を! **新登場**

AZE Virtual Place

フウジン
fujin

A to Z for Excellence™

アゼ
株式会社 AZE

本社
〒100-0004 東京都千代田区大手町2-1-1 大手町野村ビル10F
TEL:03-5255-7721 FAX:03-5255-7722 <http://www.aze.co.jp>
大阪支店・九州支店・広島サービスセンター



人と医療に役立つ
製品作りを目指して。



医療用具承認番号: 21700BZZ00167000 米国FDA医療機器認可510(K)取得

※記載されている会社名、製品名は各社の登録商標または商標です。